



digital
SOUND



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

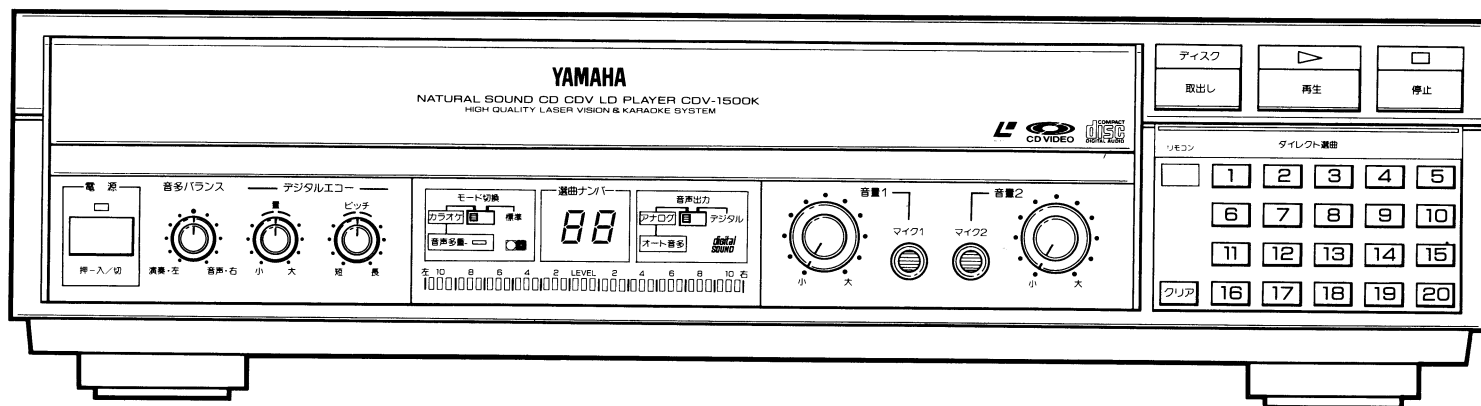
CDV-1500K

NATURAL SOUND CD CDV LD PLAYER

取扱説明書

本機は、一般家庭用機器として作られたものです。従いまして、一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業使用、車両や船舶への搭載使用等）についてはご使用はさけて下さい。

一般家庭用以外に本機を使用中、万一本機の不具合から生じた有形・無形の損失の補償については、ご容赦下さい。



YAMAHA

NTSC

ご使用の前に必ずお読みください。

このたびはヤマハCD CDV LDプレーヤーCDV1500Kをお買い求めいただきまして、まことのありがとうございます。

CDV-1500Kの優れた性能を十分に発揮させるとともに、末長くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用のまえに、ぜひお読みくださいますよう、お願いいたします。

また、お読みになったあとは、保証書とともに必ず保存してください。

特長

- 本機はカラオケ機能を充実装備したCD CDV、LDフルコンパチブル・レーザービジョンディスクプレーヤーです。
- 20キーのダイレクト選曲機能を装備していますので、選曲をワンタッチで行なえます。さらに最大15曲のプログラム演奏もすることができます。
- 本機はデジタルエコーを装備。お好みにあわせてエコーのピッチと量を自由に調整することができます。
- カラオケ演奏時は、スタンバイ機能がありますので、準備ができてからの歌いだしがスムーズに行なえます。
- 出力状態を表示するバーレベルメーターを装備していますので、カラオケ演奏時に最適なマイクレベルを設定することができます。
- 本機はLDシングル(薄型20cmLD)もアダプターなしで再生することができます。
- 映像、音声、マイク、電源の各基板の完全分離、映像、音声の独立電源方式、金メッキ出力端子など、本機は基本性能重視の設計になっています。
- 入力端子をもつテレビに接続するだけで、簡単にカラオケが楽しめます。

*LDはレーザービジョンディスクの略です。

目次

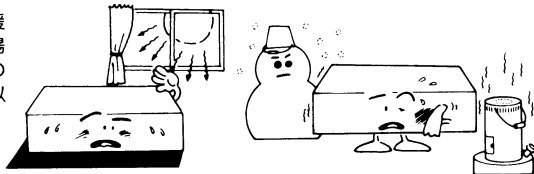
特長	1
豊かなAVライフのために	2
ご使用前に	3
リモコンについて	4
ディスクについて	5
リアパネル各部の名称とはたらき	9
接続のしかた	10
フロントパネル各部の名称とはたらき	15
リモコン各部の名称とはたらき	17
ディスクのセットのしかた LD CDV CD	20
カラオケのしかた	21
標準再生のしかた	25
テレビ放送を見るには LD CDV CD	29
画面表示について LD CDV	30
モード表示について CDV CD	31
音声出力切換について	32

音声切換について LD CDV CD	33
CX NRについて LD CDV	33
スキップ再生 LD CDV CD	34
サーチ再生 LD CDV CD	35
フレームナンバーサーチ/タイムナンバーサーチ LD CDV	37
タイムサーチ CDV CD	39
インデックスサーチ CDV CD	42
プログラム再生 LD CDV CD	43
メモリー再生 LD CDV CD	45
マルチスピード再生 LD CDV	47
静止画/コマ送り再生 LD CDV	48
リビッド再生 LD CDV CD	49
故障かなと思ったら	51
参考仕様	53
ヤマハホットラインサービスネットワーク	54

豊かなAVライフのために

高温・低温はさけて！

窓際や直射日光の当たる場所暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度35℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度5℃以下)は、さけてください。



結露現象について

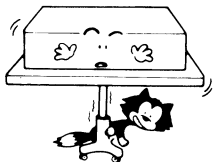
本機を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり急に室温を上げたりしますと動作部に霧が生じ、本機の性能を充分に発揮できなくなる場合があります。このような場合には電源を入れてから1~2時間程度放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

ほこり・水気をさけて！

ほこり・水気の多い場所はさけてください。本機の上に、花びんや金魚鉢など水の入ったものは置かないでください。

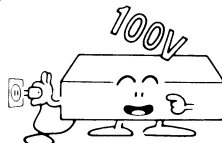


不安定な場所をさけて！

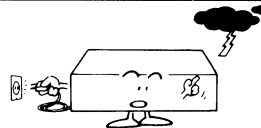


国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V



雷が近づいたら

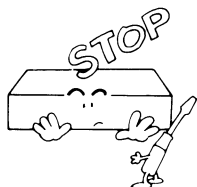


早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。このときアンテナ線には絶対に触れないでください。

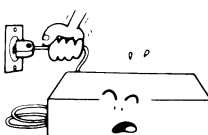
薬物厳禁

ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色することがあります。薬物の使用はさけてください。掃除をするときは、柔らかい布でカラぶきしてください。また接点復活剤は塗布部分などに悪影響をおよぼしますので、ご使用はさけてください。

開けないで！



引っばらないで！

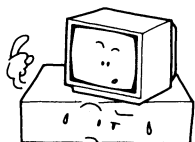


保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



上のにせないでください！



こわれた？



51、52ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

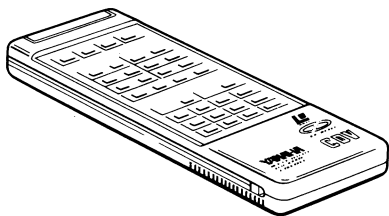
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ご使用前に

付属品を確認してください

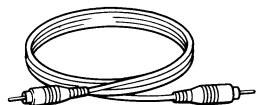
付属品は6点あります。

● リモコン



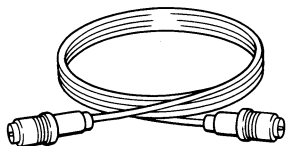
● 映像ケーブル

カラーモニターや映像入力端子付テレビを使用する場合、本機のVIDEO SIGNAL端子と、カラーモニターの映像入力端子の接続に使用します。



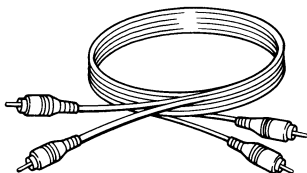
● RFケーブル

テレビと本機のVHF OUT端子を接続するときに使用します。ご使用になるテレビのアンテナ端子の形状によっては、このケーブルの一端を加工して使用します。



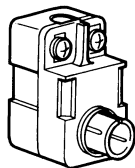
● 音声ケーブル

本機のAUDIO SIGNAL端子とカラオケ用アンプ、ステレオアンプ、AVテレビなどの音声入力端子の接続に使用します。



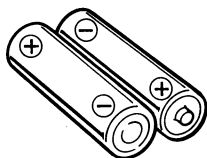
● F型プラグアダプター

ご使用のVHFアンテナケーブルを本機のANT INへ接続するときに使用します。



● 乾電池

単3 (SUM-3) × 2本



設置について

本機の電子部品や、精密なメカニズムを保護し、良好な状態でご使用いただくために、次のことに注意して本機の設置を行なってください。

- 本機の上に物を置かないでください。
- 直射日光や高温の場所はさけてください。
- 水平な場所に設置してください。傾いた場所でご使用になりますとディスクを傷つけることがあります。
- 湿気やほこりをさけてください。

■ 設置場所について

本機を発熱をとまなうアンプなどの上に積み重ねたり、通気性の悪いラックなどに入れて使用されますと、ディスクや本機に悪い影響を与えますので通気の良い場所に設置してください。また、本機の上にも物を載せないでください。

■ スピーカー、テレビ、チューナーの設置

- 本機の上にテレビ(カラーモニター)を設置しないでください。また、テレビ(カラーモニター)の上に本機を設置しないでください。
- テレビ(モニター)はスピーカーの磁気の影響を受けないよう離して設置してください。
- FM・AM放送を受信しているとき、本機の電源が入っていると受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときには電源を切っておいてください。

結露現象について

- 本機を寒い部屋から、急に暖かい部屋に移したりしますとピックアップ部に結露を生じ、正常に動作しないときがあります。そのようなときは電源をいれたまま1～2時間待ってから操作してください。

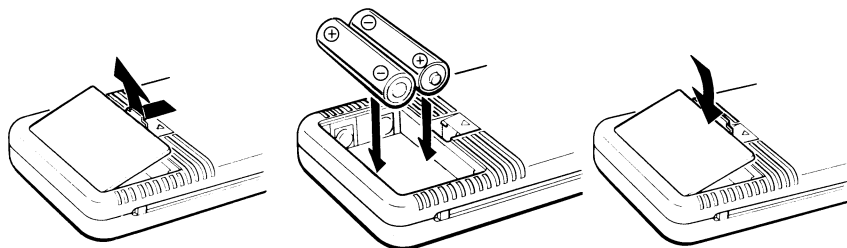
リモコンについて

●電池の入れかた

①リモコンの裏側のふたをはずします。

②付属の電池SUM-3型(単3)2本を、⊕⊖の向きをケース内の表示に合わせて正しく入れます。

③電池交換がすんだらカチッと音がするまでしめます。



●電池の交換時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。そのときは、2本とも新しい電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

乾電池は使いかたを誤ると、液もれや破裂などの危険があります。次の点については、特にご注意ください。

電池交換のときは

- プラス(⊕)とマイナス(⊖)の向きを、電池ケース内の表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。

充電について

- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。

リモコンをお使いになる上で

- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 消耗してきた電池は、早めに交換してください。

万一の事故を防ぐために

- 分解や加熱をしたり、火の中に入れてたりしないでください。また、捨てるときは、指定の場所に捨ててください。

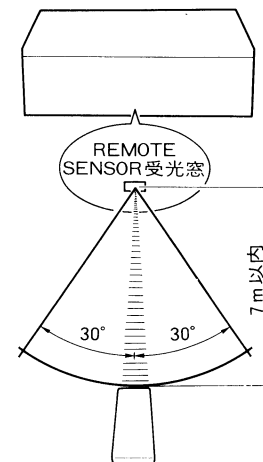
- ⊕と⊖を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。

液もれがおこったときは

電池ケースについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

リモコンについてのご注意

リモコンの使用範囲は



図の範囲内であっても、ディスプレイが開いていて、それによってリモコンからの信号がさげられていると、動作しませんので、ご使用になる角度に注意してください。

リモコンが動作しなくなったら…

電池が消耗していることがあります。新しい電池に取り換えてみてください。また、本機の電源が入っているのかも確かめください。

付属のリモコンは…

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作をおこすことがあります。リモコン操作によって誤動作する機器があるときは、その機器のリモコン受光窓をふさぐか、設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください。

お茶や水をこぼしたり、強くたたいたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高い所にも置かないようにご注意ください。

リモコン受光窓に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、働きにくくなります。

ディスクについて

本機で再生できるディスクは下表の通りです

●ディスクマークはディスクのジャケットや解説書に記載されています。

マ ー ク	デ ィ ス ク	サ イ ズ	記号記録面	音声記録方式	映像記録方式	サ ー チ の 種 類	そ の 他
	 CDシングル	8 cm	片 面	デジタル (最長20分)		トラックサーチ タイムサーチ インデックスサーチ	TOC(*1)
	CD (コンパクトディスク)	12cm	片 面	デジタル (最長70分)		トラックサーチ タイムサーチ インデックスサーチ	TOC INDEX(*2)
	CDV (コンパクトディスクビデオ)	12cm	片 面	デジタル (最長20分)	CLV(*3) (最長5分)	トラックサーチ タイムサーチ インデックスサーチ	TOC INDEX
	CDV-LD (CDVフォーマット レーザービジョンディスク)	20cm または 30cm	両 面 または 片 面	デジタルおよび アナログ	CAV(*4) または GLV	チャプター／トラックサーチ タイムサーチ インデックスサーチ フレームナンバーサーチ(CAV) タイムナンバーサーチ(GLV)	TOC INDEX
	LD (レーザービジョンディスク)	20cm または 30cm	両 面 または 片 面	デジタルおよび アナログ (*5) または アナログのみ	CAV または GLV	チャプターサーチ フレームナンバーサーチ(CAV) タイムナンバーサーチ(GLV)	



本機の再生するLD(レーザービジョンディスク)はこのマークがあるディスクに限ります。このマークはビデオディスクの世界統一マークです。CED方式およびVHD方式のビデオディスクは使用できません。

●本機は日本のテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。他のテレビ方式(PAL, SECAM)の表示のあるディスクおよびテレビは使用できません。

■TOCについて(*1)

CD、CDVは、ディスクの最初の部分にTOC(テーブルオブコンテンツ)と呼ばれる部分があります。これは本における目次と同様のもので、そのディスクに納められている内容(トラック数や演奏時間など)が記録されています。

■INDEXについて(*2)

CD、CDVのなかには、クラシック音楽など、ひとつの曲がいくつかの楽章によって構成されている場合、各楽章ごとにインデックスと呼ばれる番号をつけているものがあります。そのようなディスクは、インデックスから再生をスタートさせることができます。再生の前にディスクの説明書をお確かめください。

■映像の記録方式について

●標準ディスク／CAV (* 3、4)

CAV(Constant Angular Velocity) ディスクとも言い、ディスクの内周から外周にかけて一定回転で信号が記録されています。30cmディスクの場合、片面には、最大30分まで、フレーム(画面)数にして54,000枚まで記録されます。

標準ディスクは、すべてのフレーム(画面)に番号がつけられており、トリックプレイ(静止／コマ送り、可変速再生)、オートピクチャーストップができます。


また、チャプターサーチ、フレームサーチ、各種リピート再生なども可能です。

●長時間ディスク／CLV

CLV (Constant Linear Velocity)ディスクとも言い、ディスクの内周と外周では、記録速度が一定となるように、回転数が変化します。(内周：1800回転/分～外周：600回転/分) 30cmディスクの場合、片面には最大60分まで記録されます。

トリックプレイ(静止／コマ送り、可変速再生、オートピクチャーストップ)はできませんが、チャプターサーチ、タイムサーチ、リピート再生が可能となります。

■音声について(* 5)

LDのなかには、音声デジタル音声とアナログ音声の両方で記録され、再生時にそのどちらかを選択できるものがあります。(音声デジタルで記録されているディスクにはジャケットに  マークが記載されています)


本機は音声出力切換スイッチで、再生する音声を、デジタル音声、アナログ音声のどちらかを選択することができます。

■音声多重カラオケディスクについて

アナログ音声の音声1/L-CH (1/左チャンネル)に演奏(カラオケ)が、音声2/R-CH (2/右チャンネル)には演奏とボーカルが入っているカラオケディスクです。

●音多バランスつまみを左に回すか、リモコンの音声切換キーで1L-CHを選びますと、カラオケ演奏になります。

■デジタル音声付きレーザービジョン・マルチオーディオディスクについて

 マークが記載されているデジタル音声付きレーザービジョン・マルチオーディオディスクはデジタル音声とアナログ音声それぞれに異なる内容が記録されています。再生時は音声切換キーと音声出力切換スイッチの操作を組み合わせ、ご希望の音声を選択してください。

	デジタル音声	アナログ音声
デジタル音声付き カラオケ マルチオーディオ (音声多重)	1/左チャンネル： ステレオカラオケ 2/右チャンネル： ステレオカラオケ	1/左チャンネル： カラオケ(モノラル) 2/右チャンネル： 演奏+ボーカル(モノラル)
映画、アニメなど	本編の音声 (作品の音声)	サウンドトラック (音楽)
デュアルミュージック	ミュージック I	ミュージック 2
バイリンガル (二ヶ国)	日本語	英語などの外国語
トライリンガル (三ヶ国)	日本語	1/左チャンネル： 英語などの外国語 2/右チャンネル (ドイツ語)第2外国語
クワドリリングル (四ヶ国)	1/左チャンネル： 日本語 2/右チャンネル： 英語などの外国語	1/左チャンネル： (ドイツ語)第3外国語 2/右チャンネル (フランス語)第4外国語

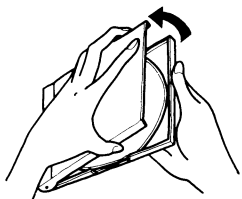
●カラオケマルチオーディオ(音声多重)ディスクの音声の種類を選びかたについては32ページをご参照ください。

ディスクについて

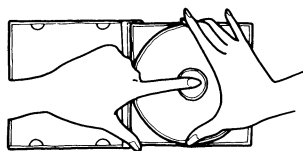
12cm CDV、CDの取り扱い

●12cm CDV、CDの取り出しかた

1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。

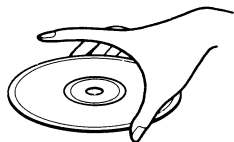


2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でディスクを持ちあげます。

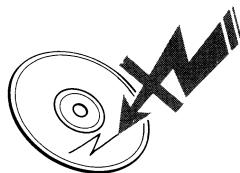


●12cm CDV、CDの持ちかた

ディスクの両端をはさんで持ちます。



●ディスクに紙やシールを貼り付けたり、キズを付けたりしないでください。

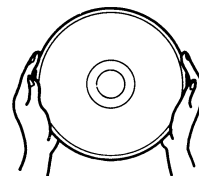


20cm、30cmビデオディスク(LD, CDV)の取り扱い

●ディスクの持ちかた

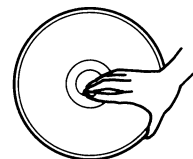
両手で持つ場合

ディスクの両端をはさんで持ちます。



片手で持つ場合

中央の穴と外周部にかけて持ちます。



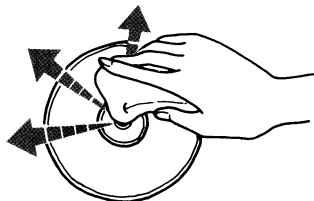
●そりや傷のあるディスクは使わないでください。

ディスクのそりや傷は画質、音質を損ねるばかりでなく、ひどい場合にはセットに損傷を与えたり、寿命を著しく縮めたりすることがありますので、ご使用にならないでください。

もしディスクがそってしまったときは、右項の「2.もしディスクがそったときは」をご参照のうえ、ディスクを矯正してからご使用ください。

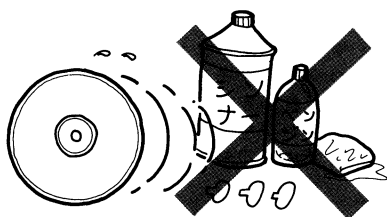
ディスクのお手入れについて

より良い画質・音質でお楽しみいただくため、ディスク面についたホコリやゴミ、指紋などは、柔らかい布でふきとってからご使用ください。
汚れがひどい場合は、水にひたしてからよくしぼった柔らかい布でよごれをふきとり、乾いた布でからぶきしてください。



みがく時は放射状に

ディスクのクリーニングの際に、ベンジンやレコードクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。



ご注意

ディスクは熱などにデリケートな素材でできています。
再生後は必ずトレイからとり出してジャケットやケースに収めて高温多湿をさけて垂直に保管してください。

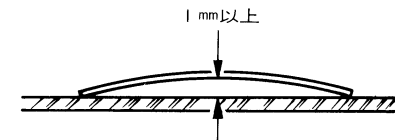
1. ディスクの保管について

そりを防ぐために使用後は、ディスクをトレイから必ず取り出してください。取り出したディスクはジャケットに収め、高温多湿の場所を避けて垂直に保管してください。斜めにしたり、積み重ねて保管しておくとディスクがそる場合がありますのでご注意ください。また、ディスクに付いている注意書も必ずお読みください。

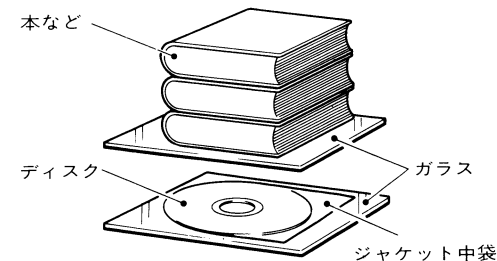
2. もしディスクがそったときには

平らな面(ガラス等)の上にディスクを置いて隙間(目安として1mm以上)ができるディスクはそりが大きすぎます。矯正してからご使用ください。

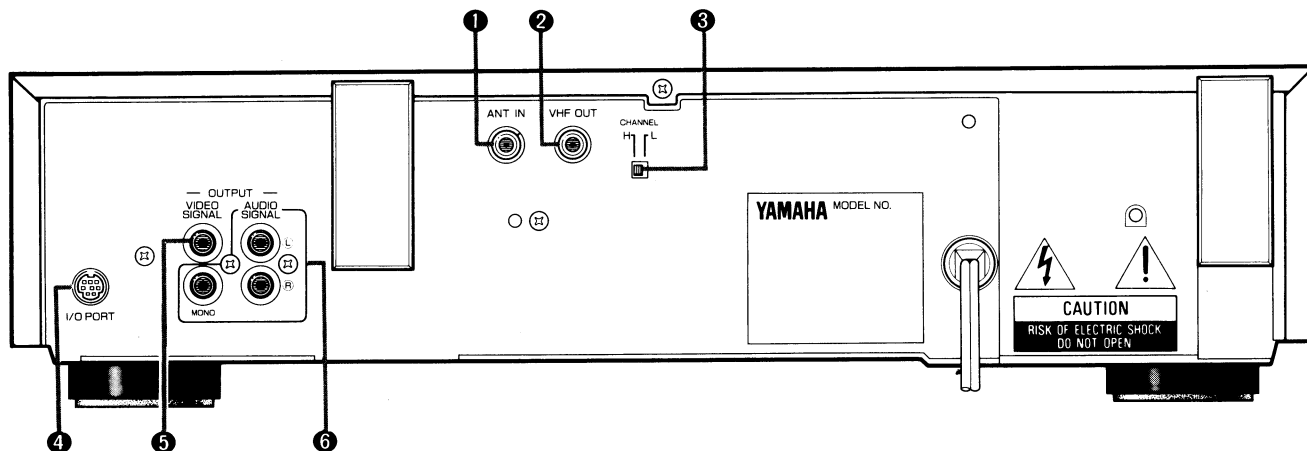
1mm以上の隙間があるディスクは矯正してください。



ディスクが変形してしまった場合には、ディスクを中袋に入れてガラスなど平らな板ではさみ、4～5kgの重しをのせて1日ほどそのままにしておいてください。そりなどが軽減されることがあります。



リアパネル各部の名称とはたらき



アンテナ イン
① ANT IN端子

VHF用テレビアンテナからの放送信号またはVTRを経由したVHF信号を入力する端子です。

ブレイクアウト アウト
② VHF OUT端子

再生する映像と音声をVHF信号にして出力する端子です。付属のRFケーブルを使ってテレビのVHF端子に接続します。

チャンネル
③ CHANNEL切替スイッチ

VHF OUT端子からの出力信号をテレビの空チャンネルに合わせて切り換えるスイッチです。(L: 1チャンネル、H: 2チャンネル)

アイオー ポート
④ I/O PORT

調整用端子です。ご使用になれません。

ビデオ シグナル
⑤ VIDEO SIGNAL端子

映像信号を出力する端子です。

オーディオ シグナル
⑥ AUDIO SIGNAL端子

音声信号を出力する端子です。再生するディスクによって、各端子に出力される信号が次の表のように異なります。

再生ディスク	MONO端子	L、R端子
CD、12cmCDV	デジタル音声モノラルで出力されます	デジタル音声ステレオで出力されます
<i>digital SOUND</i> マーク付きの 20cm・30cmCDV、LD	デジタル音声またはアナログ音声モノラルで出力されます。 * デジタル音声、アナログ音声の切り換えができます。	デジタル音声またはアナログ音声ステレオで出力されます。 * デジタル音声、アナログ音声の切り換えができます。
<i>digital SOUND</i> マーク無しの LD	アナログ音声モノラルで出力されます	アナログ音声ステレオで出力されます。

接続のしかた

接続の際のご注意

- 電源スイッチ……本機および各機器の電源を切ってから接続してください。
- 電源プラグ……接続に誤りがないことを確認してから、電源コンセントに差し込んでください。
- 接続コード……各機器のL(左チャンネル)・R(右チャンネル)を確認して、正しく確実に接続してください。

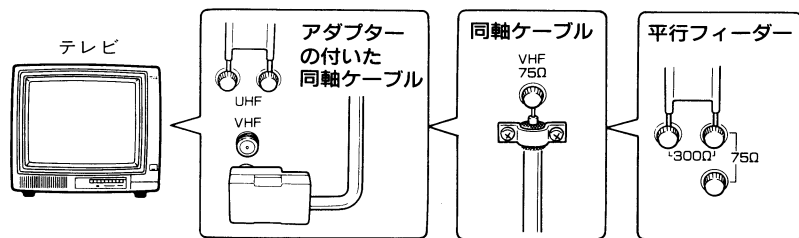
接続のまえに

- ご使用になるテレビによって接続の方法が異なります。お手持ちのテレビを確認し、各接続例をご参照ください。

- 本機の上にテレビはのせられません。

接続例A：AV入力端子のない普通のテレビの場合

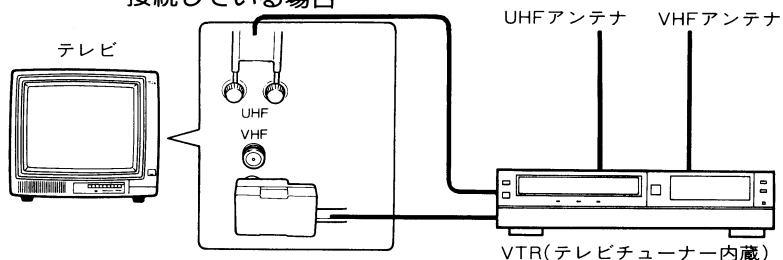
11ページをご覧ください。



アンテナ線とアンテナ端子の形状を確認してください。

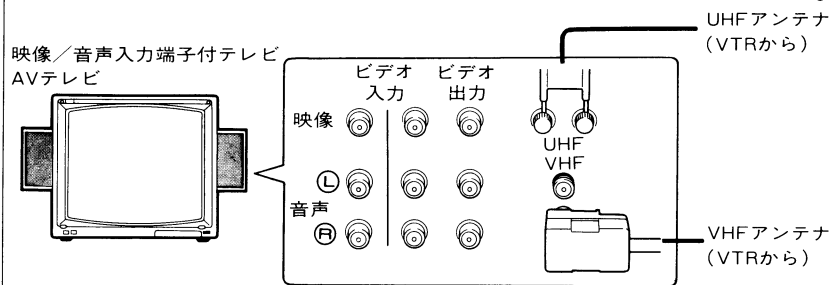
接続例B：AV入力端子のない普通のテレビにすでにVTRを接続している場合

12ページをご覧ください。



接続例C：映像/音声入力端子のあるモニターテレビやAVテレビの場合

13ページをご覧ください。



- 接続する機器によって端子などの名称が異なります。接続の際は、各機器の取扱説明書も合わせてご参照ください。

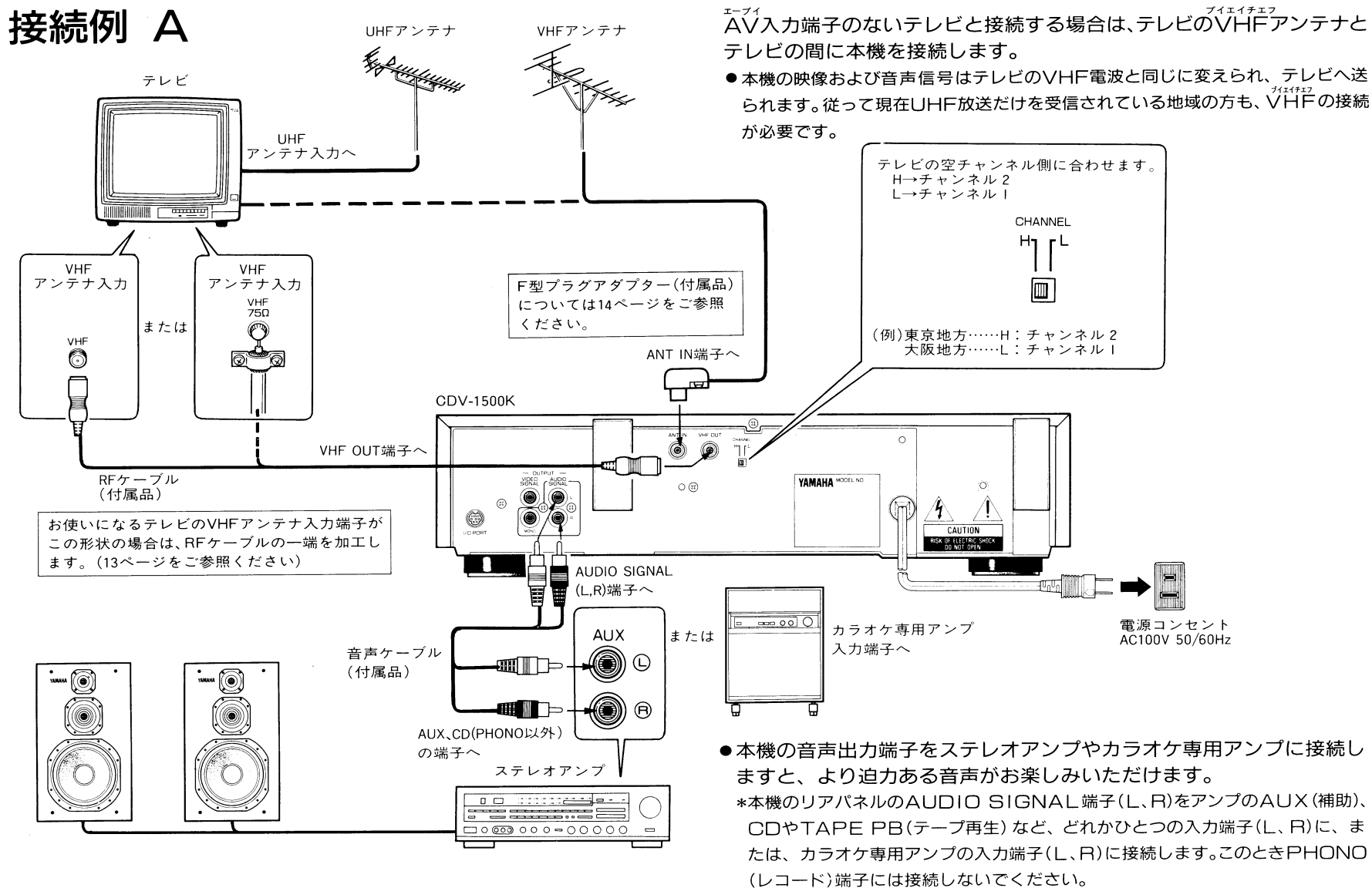
■電源コードの極性表示について

電源プラグはAC 100Vの家庭用コンセントに接続してください。本機の消費電力は30Wです。

本機の電源コードには、極性表示（一で表示）されています。これは、各機器の電源の極性を合わせるためです。

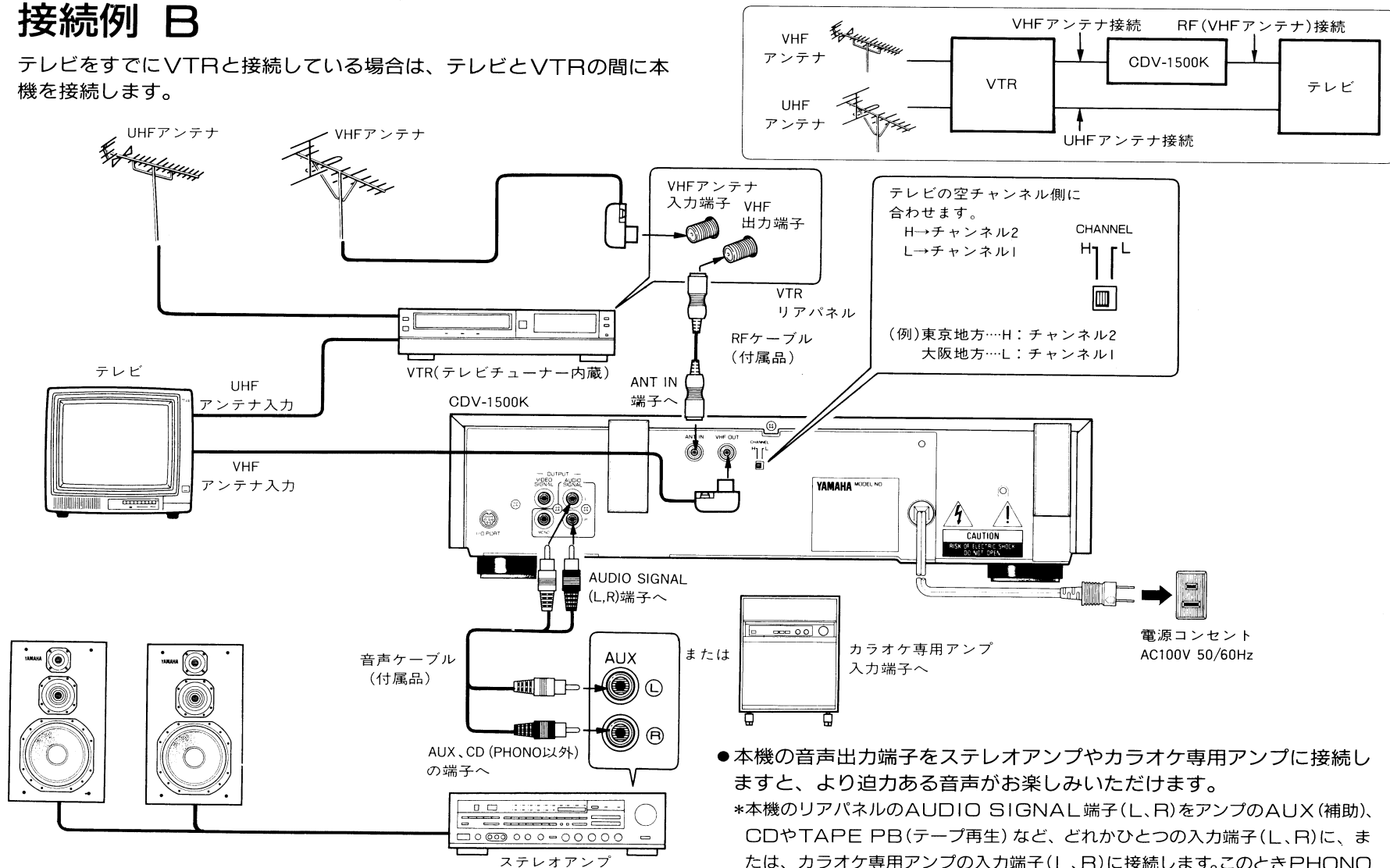
家庭用のコンセントに接続する場合、極性表示のある方を家庭用コンセントの長い方の穴に合わせて接続してください。

接続例 A



接続例 B

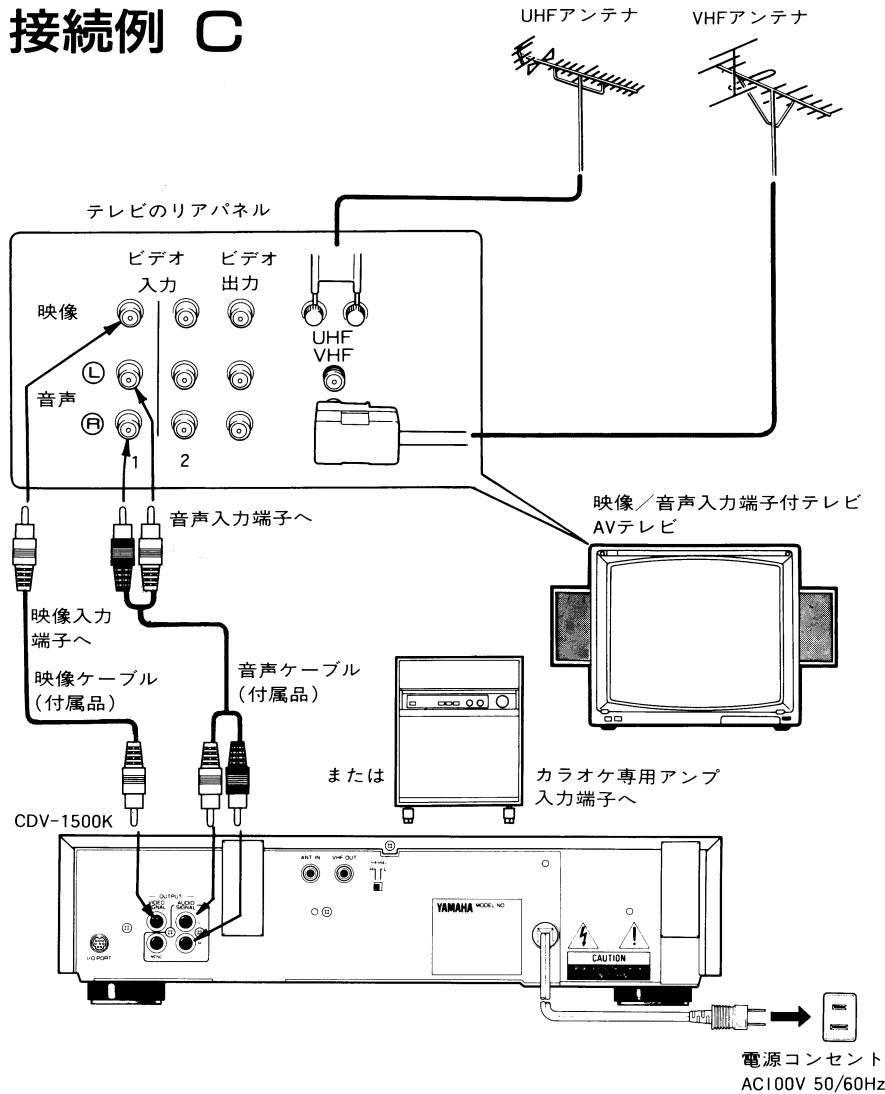
テレビをすでにVTRと接続している場合は、テレビとVTRの間に本機を接続します。



●本機の音声出力端子をステレオアンプやカラオケ専用アンプに接続しますと、より迫力ある音声が楽しめます。

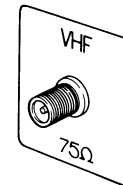
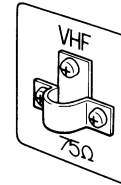
*本機のリアパネルのAUDIO SIGNAL 端子(L,R)をアンプのAUX(補助)、CDやTAPE PB(テープ再生)など、どれかひとつの入力端子(L,R)に、または、カラオケ専用アンプの入力端子(L,R)に接続します。このときPHONO(レコード)端子には接続しないでください。

接続例 C



■付属のRFケーブルの加工のしかた

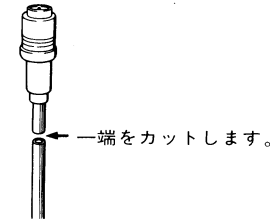
- テレビのVHFアンテナ入力端子がF型ターミナルでない場合は、RFケーブルの一端を加工して接続します。



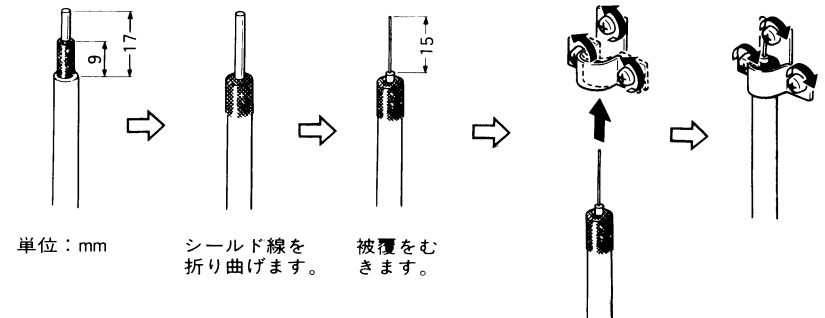
F型ターミナルでない場合：
下記の要領でRFケーブルを加工して
ください。

F型ターミナル：
この場合はRFケーブルを加工する
必要はありません。

- 1 RFケーブルの片方のプラグ側を切断します。



- 2 ケーブルの先端を加工して、取り付けます。

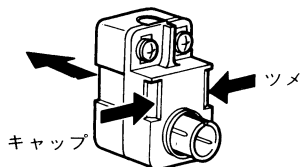


■付属のF型プラグアダプターの使いかた

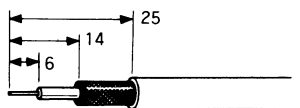
VHF用テレビアンテナのケーブルを本機のANT IN端子に接続するときに使用します。

●アンテナケーブルが同軸ケーブルの場合

1 F型プラグアダプターのツメを内側に押さえてキャップをはずします。

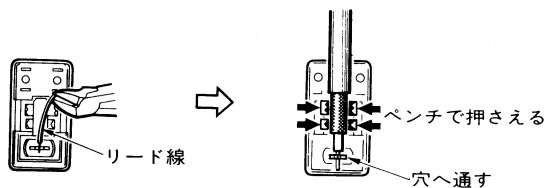


2 同軸ケーブルの先端を切断してから加工します。

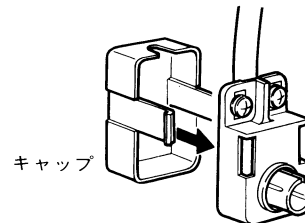


単位：mm

3 赤いリード線を切って取り除き、同軸ケーブルを図のように穴に通し、ペンチで押さえます。

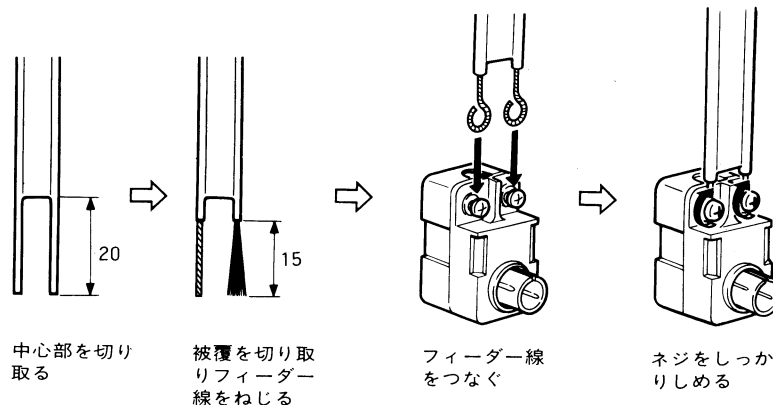


4 キャップの先端部を入れ、次に後部を押し込みます。

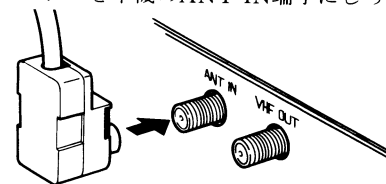


●アンテナケーブルが平行フィーダーの場合

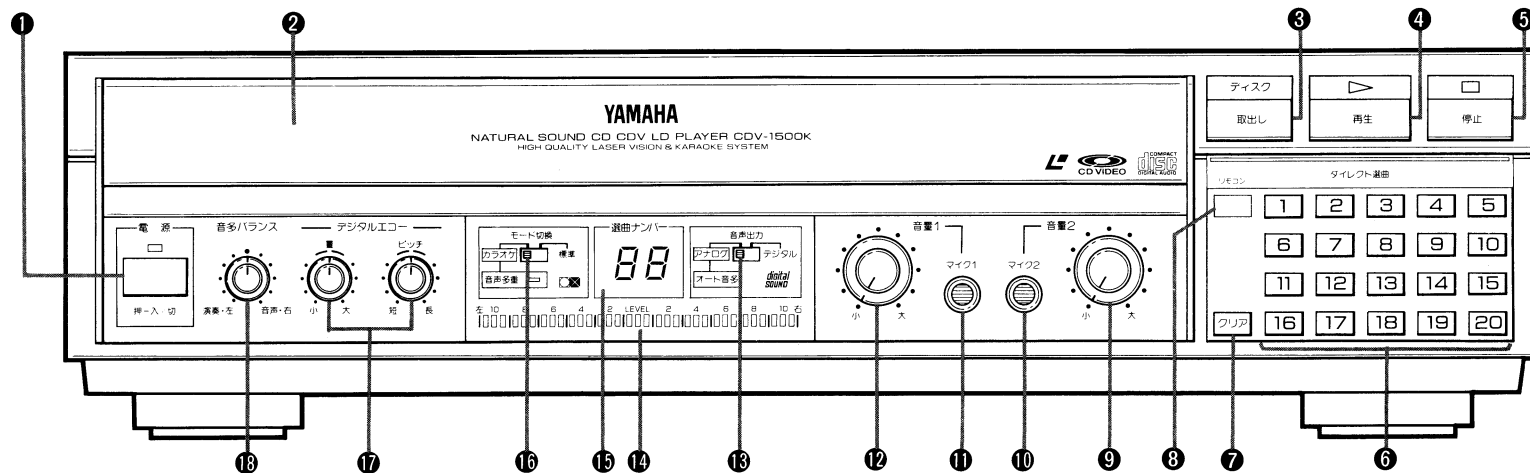
1 F型プラグアダプターのターミナルに平行フィーダーを接続します。



■F型プラグアダプターを本機のANT IN端子にしっかり差込みます。



フロントパネル各部の名称とはたらき



①電源スイッチ

このスイッチを一度押しますと電源が入り、もう一度押しますと電源が切れます。

②ディスクトレイ

ディスクをセットするところです。

③取出しキー

ディスクトレイを開けるキーです。

再生中に押しますと、再生はストップしディスクトレイが開きます。

- ディスクがセットされていないときは「ディスク」の文字が点灯し、セットされているときは消灯します。またディスクトレイが開くときは「ディスク」の文字が点滅します。

④再生キー

再生をスタートさせるキーです。

カラオケ：ディスクトレイが開いているとき押しますと、ディスクトレイが閉まりスタンバイ状態になります。

標準再生：再生が自動的にスタートします。

- マルチスピード再生中、コマ送り再生中に押しますと、通常の再生に戻ります。

⑤停止キー

再生を停止させるキーです。

- ディスクトレイが開いているときに押しますと、ディスクトレイが閉まります。

⑥ダイレクト選曲キー

再生したい曲を選ぶキーです。

カラオケ：再生したい順番に曲番号キーを押しますと、15曲までプログラム（メモリ）することができます。メモリーされた曲番号キーは点灯し、最初に再生する曲番号キーが点滅します。再生キーを押しますと再生がスタートし、再生中の曲番号キーは消灯、次に再生する曲番号キーが点滅します。

- ディスクトレイが開いているときに押しますと、ディスクトレイが閉まります。

標準再生：再生したい曲やチャプターをダイレクトに選びます。キーを押しますと、キーと▷（再生）が点滅後、自動的に再生がスタートします。

- ディスクトレイが開いているときに押しますと、ディスクトレイが閉まり、選曲した曲から再生がスタートします。

⑦クリアキー

カラオケ予約プログラムをクリアするキーです。
このキーを押しますと、点滅、点灯していたキーが消灯しカラオケ予約プログラムがすべてクリアされます。

⑧リモコン受光窓

付属のリモコンからのコントロール信号(赤外線)を受光するところです。

⑨音量2調整ツマミ

マイク2ジャックに接続したマイクの音量を調整します。
右に回しますとマイク2の音量が大きくなり、左に回しますと小さくなります。

⑩マイク2

マイクを接続するジャックです。

⑪マイク1

マイクを接続するジャックです。

- マイクはダイナミック型マイクをご使用ください。
- マイクは、電源が切れているときか、マイク音量調整ツマミを小の位置にしてから接続してください。

⑫音量1調整ツマミ

マイク1ジャックに接続したマイクの音量を調整します。
右に回しますとマイク1の音量が大きくなり、左に回しますと小さくなります。

⑬音声出力切換スイッチ

ディスクのなかにはデジタル音声とアナログ音声の2種類の音声記録されていて、再生時に選択できるものがあります。その切り換えをするスイッチです。
マルチオーディオカラオケディスク再生時は、アナログ側にしますと、音声多重モードになり、デジタル側にしますとデジタルカラオケモードになります。

- 詳しくは32ページをご参照ください。

⑭レベルメーター

電源が入りますと中央が点灯し、ディスク再生時は音声のレベルを左右に表示します。

⑮選曲ナンバーディスプレイ

再生中のチャプター/トラックナンバーを表示します。
チャプター/トラックサーチをしますと、再生前(スタンバイ中、サーチ中)はチャプター/トラックナンバーが点滅、再生中は点灯します。

⑯モード切換スイッチ

再生モードをカラオケ(一曲再生)↔標準再生に切り換えるスイッチです。
カラオケ：カラオケ再生するときには、この位置にします。
音声多重ディスクをご使用の場合は、32ページをご参照ください。
標準再生：本機をCD CDV LDプレーヤーとしてお使いになるときは、この位置にします。

- モードの切換は、停止状態で行ってください。

⑰デジタルエコー調整ツマミ

ピッチ：エコーのピッチ(山と山の間隔)が右に回しますと長くなり、左に回しますと短くなります。

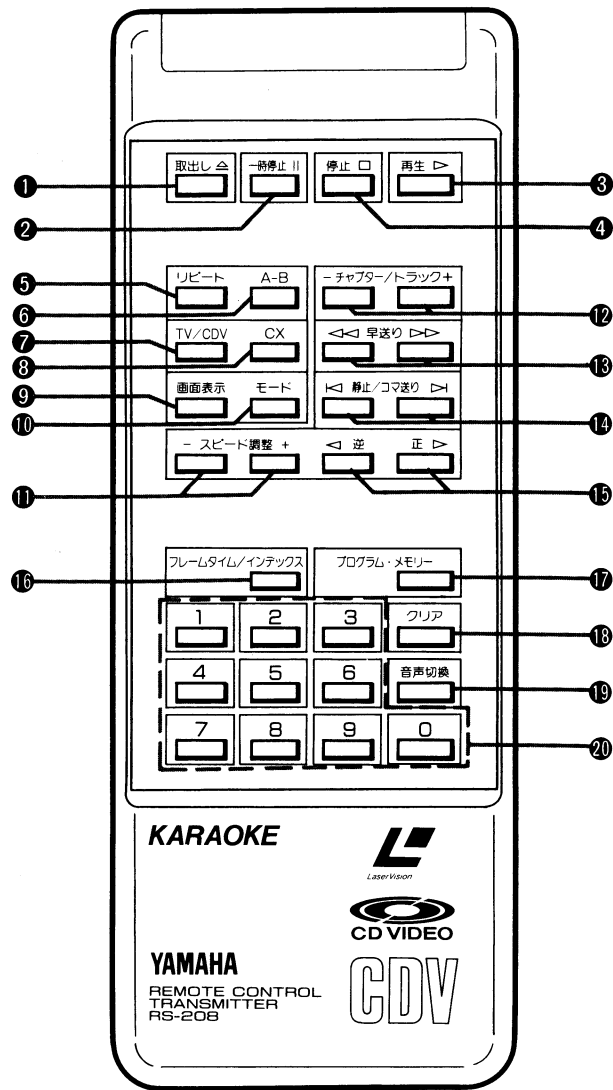
量：エコーの量(谷の深さ)が右に回しますと大きくなり、左に回しますと小さくなります。

- エコーはマイクの音だけに効果を付けることができます。ディスクの再生音にエコー効果を付けることはできません。

⑱音多バランス調整ツマミ

カラオケ：音声多重カラオケディスク再生時は、ツマミを右に回しますとボーカル中心の再生音となり、中央の位置では演奏とボーカルのミックス、左に回しますとカラオケ演奏になります。
詳しくは21、32ページをご参照ください。
標準再生：標準再生時、このツマミは機能しません。

リモコン各部の名称とはたらき



① 取出しキー

ディスクトレイを開けるキーです。

② 一時停止キー **LD CDV CD**

一度押しますとポーズ(一時停止)、もう一度押しますと再生を再開します。

- ディスクトレイが開いているときに一度押しますと、トレイは自動的に閉まり、最初に再生するチャプターまたはトラックの頭でポーズになります。

③ 再生キー **LD CDV CD**

再生をスタートさせるキーです。

- ディスクトレイが開いているときに押しますと、ディスクトレイが閉まり、再生がスタートします。
- マルチスピード再生中あるいはコマ送り再生中に押しますと、通常の再生に戻ります。

④ 停止キー

押しますと再生が停止(ストップ)します。

- ディスクトレイが開いているときに押しますと、ディスクトレイが閉まります。

⑤ リピートキー **LD CDV CD**

シングルリピート、フルリピート、プログラムリピートを行うときに、その指定や解除をするキーです。

- キーを押すごとに、REP ONE→REP ALL→REP OFFの順に切り換わります。(リピート再生→49ページ)

⑥ A-Bキー **LD CDV CD**

A-Bリピート(任意に指定した2点間のリピート)をするときに使います。

- (A-Bリピート→50ページ)

⑦ TV/CDV切換キー **LD CDV CD**

RF接続(→11, 12ページ)をしているときに、テレビの画面を、本機の再生とテレビ放送の受信を切り換えるキーです。(テレビ放送を見るには→29ページ)

⑧ C X キー

20cm・30cm CDV LD : シーエックス ノイズリダクション CX NR をマニュアルでON/OFFするディスクの場合には、このキーでONにします。
(CX NRについて→33ページ)

12cm CDV CD : このキーは機能しません。

⑨ 画面表示キー

20cm・30cm CDV LD : CAV/標準ディスクを再生中にキーを押しますと、画面にチャプターナンバーとフレームナンバーが表示されます。
CLV/長時間ディスクを再生中にキーを押しますと、チャプターナンバーとタイムナンバーが表示されます。

*ディスクによっては、チャプターナンバーの表示されないものがあります。

12cm CDV : ビデオパート再生時はトラックナンバー、インデックスナンバー、トラックタイムを表示します。またオーディオパート再生時は、このキーは機能しません。

CD : このキーは機能しません。

⑩ モードキー

LD : このキーは機能しません。

20cm・30cm CDV : 再生またはポーズ中にこのキーを押しますと、キーを押すごとにフレームナンバー (タイムナンバー) →トラックタイム (TIME:再生中のトラックの頭からの経過時間) →トータルタイム (TOTAL:ディスクの頭からの経過時間) →リメインタイム (REMAIN:ディスクの演奏残り時間) の順に表示が切り換わります。

12cm CDV : 再生またはポーズ中にこのキーを押しますと、キーを押すごとにトラックタイム (TIME:再生中のトラックの頭からの経過時間) →トータルタイム (TOTAL:オーディオパートあるいはビデオパートの頭からの経過時間) →リメインタイム (REMAIN:ビデオパートあるいはオーディオパートの演奏残り時間) の順に表示が切り換わります。

CD : 再生またはポーズ中にこのキーを押しますと、キーを押すごとにトラックタイム (TRACK TIME:再生中のトラックの頭からの経過時間) →トータルタイム (TOTAL TIME:ディスクの頭からの経過時間) →リメインタイム (REMAIN TIME:ディスクの演奏残り時間) の順に表示が切り換わります。

⑪ スピード調整キー

20cm・30cm CDV LD : CAV/標準ディスクでマルチスピード再生 (→47ページ) をするときには、再生スピード (10段階) を選択するキーです。+キーを押しますと再生スピードが早くなり、-キーを押しますと、遅くなります。

画面表示	* 12	* 3
速度	12倍速	3倍速

12cm CDV CD : このキーは機能しません。

⑫ チャプター/トラックキー **LD CDV CD**

チャプターまたはトラックの頭出しをするキーです。

+ : 再生中に押しますと、次のチャプターまたはトラックの頭出しをして再生しもう一度押しますと、その次のチャプターまたはトラックの頭出しをして再生します。

- : 再生中に押しますと、再生中のチャプターまたはトラックの頭出しをして再生し、もう一度押しますと、その前のチャプターまたはトラックの頭出しをして再生します。

- 押し続けると連続的に頭出しを行います。(スキップ機能について→34ページ)
- プログラム再生時は次のプログラムに進めたり、前のプログラムに戻したりすることができます。
- ポーズ中やストップ時にも頭出しをすることができます。

⑬ 早送りキー **LD CDV CD**

▷▷ : 再生中に早送りするキーです。

◁◁ : 再生中に早戻しするキーです。

- LD, 20cm・30cm CDVおよび12cm CDVのビデオパート再生中は早送り、早戻しをしますと音声は消えます。
- CD, 12cm CDVのオーディオパート再生中およびポーズ中に早送り、早戻しをしますと再生音を小さな音で聴くことができます。(早送り・早戻しについて→27ページ)

⑭ 静止 / コマ送りキー

20cm・30cm CDV LD

▷：CAV/標準ディスクを再生中に、正方向に静止画/コマ送り再生を行うキーです。

一回押しますと画面は静止し、その後は押すたびにコマずつ送られます。

◁：CAV/標準ディスクを再生中に、逆方向に静止画/コマ送り再生を行うキーです。

一回押しますと画面は静止し、その後は押すたびにコマずつ送られます。

(静止画・コマ送り再生→48ページ)

- 押し続けた場合は0.3秒ごとにコマ送り再生が行われます。
- 静止画/コマ送り再生中は音声は消えます。
- CLV/長時間ディスクでは静止画・コマ送り再生はできません。

CDV CD：このキーは機能しません。

⑮ マルチスピードプレイキー

20cm・30cm CDV LD

正▷：CAV/標準ディスクの再生中、スピード調整キーで選択した速さで正方向に再生します。(マルチスピード再生)

▷逆：CAV/標準ディスクの再生中、スピード調整キーで選択した速さで逆方向に再生します。(マルチスピード再生)

- マルチスピード再生時は音声は消えます。
- CLV/長時間ディスクではマルチスピード再生はできません。

12cm CDV CD：このキーは機能しません。

⑯ フレーム・タイム/インデックスキー **LD CDV CD**

CAV/標準ディスクの再生時にフレームナンバーサーチを行うとき、またCLV/長時間ディスク再生時にタイムナンバーサーチを行うときに使います。(フレームナンバーサーチ→37ページ、タイムナンバーサーチ→38ページ)
またインデックス再生(インデックスサーチ→42ページ)を行なうときに使います。

⑰ プログラム・メモリーキー **LD, CDV, CD**

再生したいチャプターまたはトラックを任意の順番で再生するときに、そのセットや確認を行うキーです。(プログラム再生→43ページ)またメモリー再生をするときにも使います。(メモリー再生→45ページ)

⑱ クリアキー **LD CDV CD**

指定したフレームナンバー、タイムナンバー、プログラム曲番やモードをクリアするキーです。

⑲ 音声切換キー **LD CDV CD**

音声をステレオ信号、L、R(左、右)両チャンネルともL(左)信号(第1原語)、あるいは両チャンネルともR(右)信号(第2原語)に設定するキーです。キーを押すごとに、STEREO→1/L-CH→2/R-CHの順に切り換わります。(音声切換について→33ページ)

- 電源を入れたときにはステレオに設定されています。

⑳ テンキー(1~0数字キー) **LD CDV CD**

チャプターナンバー、フレームナンバー、タイムナンバーおよびトラックナンバー、インデックスナンバー、トラックタイム、トータルタイム、リメインタイムおよびプログラム曲番などを指定するキーです。

ディスクのセットのしかた

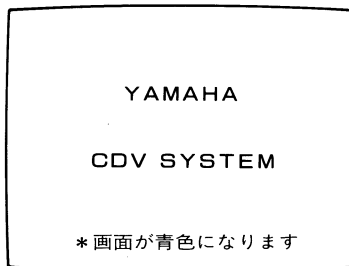
1 本機および接続した各機器の電源を入れます。

*CDV、LDを再生するときは、接続したテレビを本機の再生ができるようにセットします。

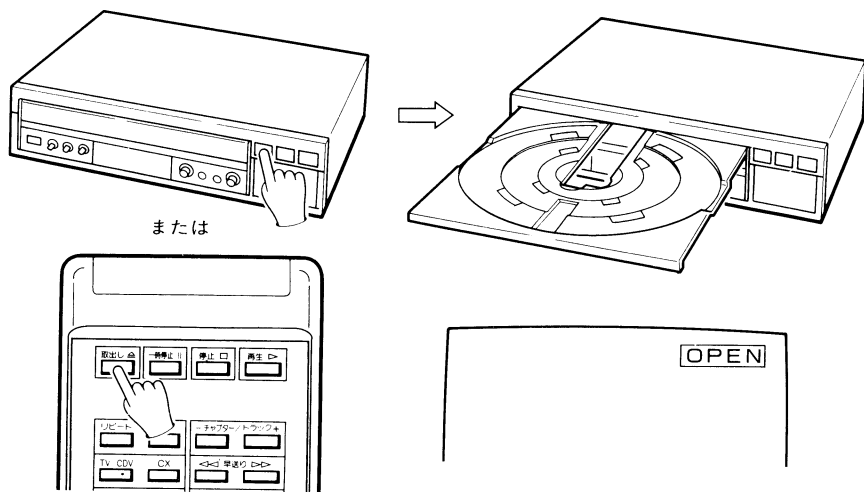
初期画面(カラオケ演奏時)



初期画面(標準再生時)



2 取出しキーを押しディスクトレイを開けます。



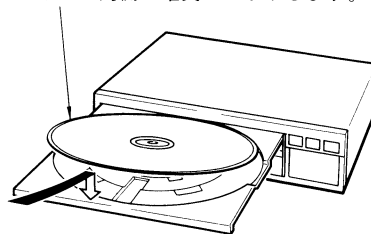
3 ディスクをセットします。

20cm・30cm CDV LD

:再生したいレーベル面を上にしてセットしてください。

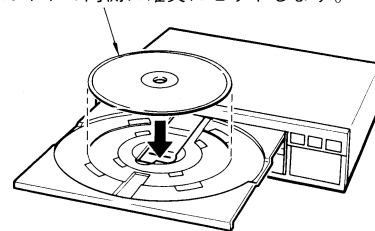
●30cmディスクの場合

見たいレーベル面を上にして30cmのガイドの内側に確実にセットします。



●20cmディスクの場合

見たいレーベル面を上にして20cmのガイドの内側に確実にセットします。

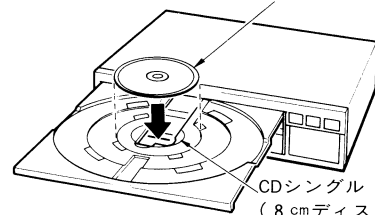


●片面ディスクで裏面が不透明なアクリル樹脂製のものを再生する場合、レーベル面(アクリル樹脂側)を上向きに、キラキラ光る側の面を下向きにセットしてください。逆向きにセットすると故障の原因となります。

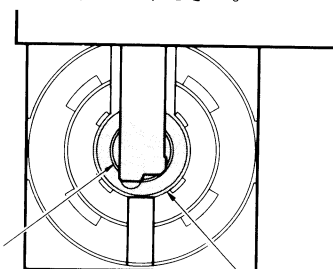
12cm CDV 8cm・12cm CD

:12cmCDVおよびCDの信号は片面だけに記録されています。レーベル面を上にしてセットしてください。

レーベル面を上にして各々のディスクガイドの内側にセットします。



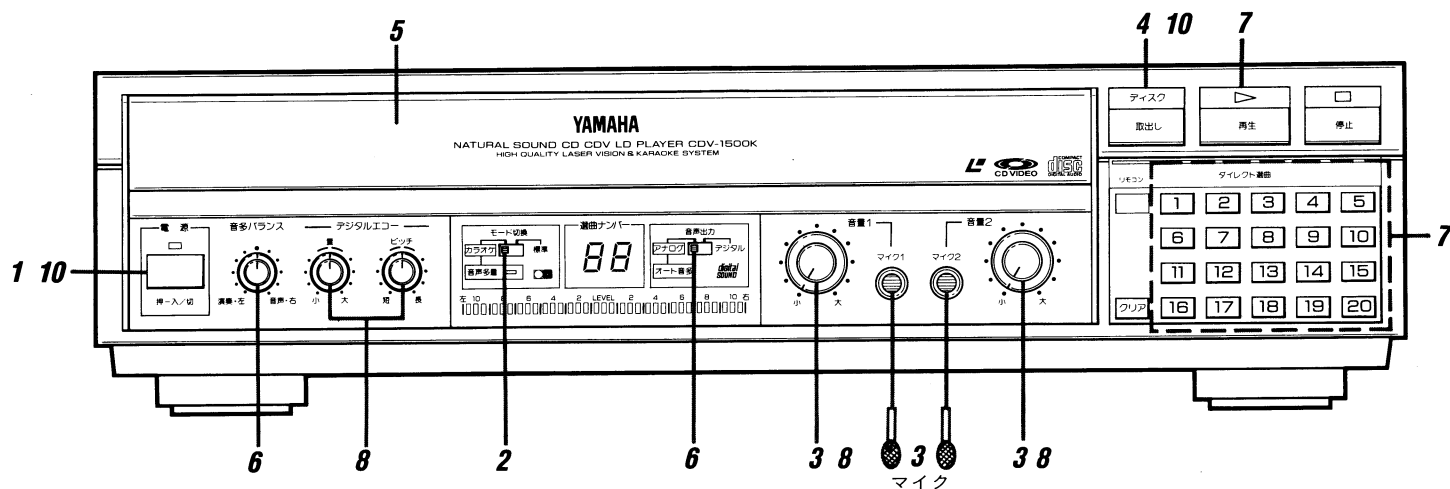
●アダプターは不要です。



12cmCDV CD用
ガイド

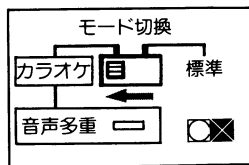
ディスクトレイのガイドにディスクのふちを合わせて確実にセットします。誤ってずれたままトレイを閉めた場合には、速やかにトレイを開き、セットし直してください。ずれたまま動作させますとディスクを傷つけるだけでなく、本体の故障の原因となる場合があります。

カラオケのしかた



1 本機および各機器の電源を入れます。

2 モード切換スイッチを“カラオケ”側にします。
画面はグリーンバックに“YAMAHA CDV KARAOKE”を表示します。
●モード切換スイッチの切り換えは、停止状態（画面にSTOPが表示されているとき）で行ってください。



3 音量ツマミが“小”になっていることを確認し、マイクをマイクジャックに差し込みます。

4 取出しキーを押し、ディスクトレイを開けます。

- ディスクがセットされていないときは“ディスク”の文字が点灯し、ディスクがセットされると“ディスク”文字が消灯します。

5 カラオケディスクをディスクトレイにセットします。

- 再生するレーベル面を上にしてセットします。詳細は20ページをご参照ください。
- 音声多重ディスクの場合は音声多重インジケーターが点灯します。

6 演奏するディスクの音声の種類により音声出力切換スイッチ、音多バランスツマミを操作します。

- 音声多重ディスクを再生するときにアシスタントボーカルが不要の場合は、音多バランスツマミを左(演奏側)に回します。
またはリモコンの音声切換キーで1L-CHを選択します。
- 音声多重マルチオーディオディスクでは音声出力切換スイッチをアナログ側にしますと音声多重カラオケ演奏が、デジタル側にしますとデジタルカラオケ演奏になります。

7 再生する曲を選択し、再生キーを押します。

選曲再生のしかた

●ダイレクト選曲キーを使う場合

①希望する曲番キーを押します。

希望の曲番キーを続けて押しますと、プログラム(演奏予約)をすることができます。

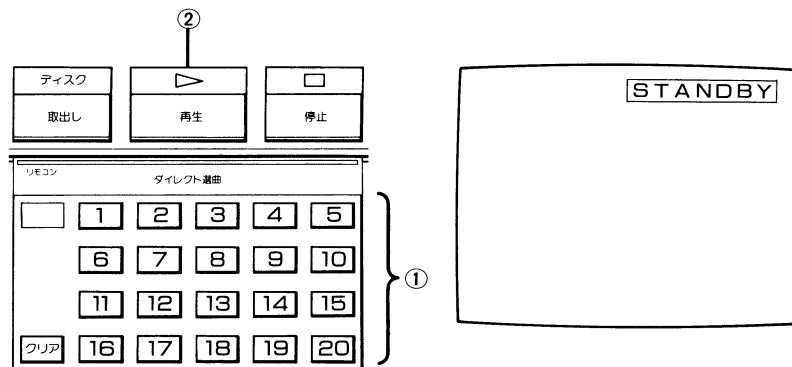
詳しくは“カラオケ予約プログラムのしかた”をご参照ください。

②“STANDBY”が点滅から点灯に変わりましたら、本機の演奏の準備はOKです。

再生キーを押してください。演奏がスタートします。

●カラオケモードでは、再生キーを押すまで演奏はスタートしません。

歌う準備が整ってから再生キーを押してください。



●リモコンのテン(1~0)キーを使う場合

①テンキーの希望の曲番を押します。

②再生キーを押します。

画面の“PLAY”の点滅が終了後、演奏がスタートします。

●チャプター／トラックキーを使う場合

①チャプター／トラックキーを押しますと、チャプターナンバーが表示されます。

②チャプター+、-キーで演奏したい曲番を画面に表示させてから、再生キーを押します。

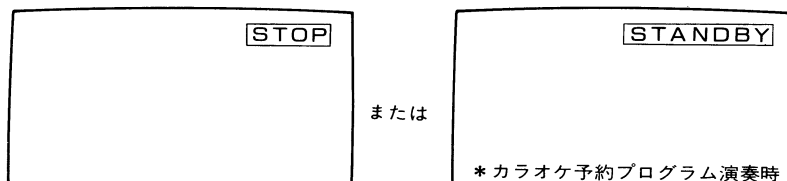
“PLAY”の点滅が終了後、演奏がスタートします。

8 全体の音量は接続している機器のボリュームで、マイクの音量やエコーの効かせ具合は本機の音量ツマミ、デジタルエコーツマミで調整してください。

●ハウリング(キーンという音)が出るときは、①マイクの音量を下げる、②マイクの向きを変える、③全体の音量を下げる、④マイクとスピーカーの距離をはなすようにしますとハウリングを防ぐことができます。

●再生中にリモコンの画面表示キーを押しますと、画面に演奏中のチャプターナンバー、演奏経過時間が表示されます。キーをもう一度押しますと、表示は消えます。

9 一曲の演奏が終わりますと、自動的に停止状態(カラオケプログラム演奏時は次曲のスタンバイ状態)になります。



10 取出しキーを押しますと、ディスクトレイが開きます。カラオケを終了するときは、ディスクを取り出し、再生キー、停止キーなどを押してディスクトレイを閉めてから、電源スイッチを切ります。

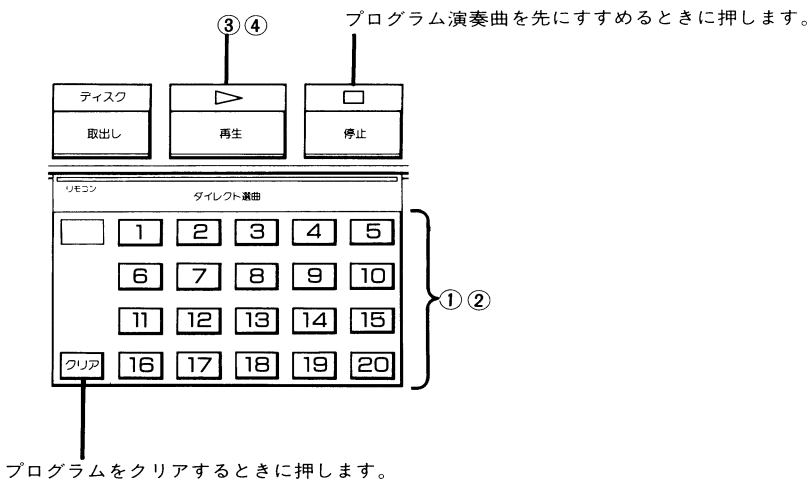
●ディスクトレイを手で軽く押してもディスクトレイは閉まります。

カラオケのしかた

■カラオケ予約プログラムのしかた

セットしたディスクのなかから15曲までをお好みの順番で演奏することができます。カラオケプログラム演奏は一曲ごとにスタンバイになります。

- ① **ダイレクト選曲の曲番キー**を演奏したい曲順に押します。
- ② 最初に演奏する曲の**曲番キー**が点滅、プログラムメモリーされた**曲番キー**は点灯します。
- ③ 画面の“STANDBY”が点滅から点灯に変わりましたら、**再生キー**を押します。プログラムの1曲目の演奏がスタートします。
- ④ 一曲の演奏が終了するごとにスタンバイ状態になります。**再生キー**を押しますとプログラムの次の演奏がスタートします。
- ⑤ プログラムのすべての曲の演奏が終わりますと、ストップ状態になります。
 - 同じ曲を再度演奏したい場合は、その曲の演奏が始まってから、または終わってから、再度**曲番キー**を押します。



●プログラムの変更のしかた

ストップ状態のときにクリアキーを押しますと、点滅、点灯しているすべてのキーが消灯します。あらためてプログラムをやり直してください。

- ・プログラム曲を演奏中にクリアキーを押しますと、その曲の演奏終了後にプログラムを解除しストップ状態になります。
- ・停止キーを押しますと、演奏中の曲はストップし、次の演奏曲のスタンバイ状態になります。停止キーを押すごとに次の曲に移ります。

●プログラムの追加のしかた

プログラム演奏中にダイレクト選曲の曲番キーを押しますと、その曲はプログラムの最後に追加されます。(ただし、15曲を超えての追加はできません)

ご注意

- カラオケモードのときは、通常のプログラム演奏(43ページ)はできません。
- 音声多重のインジケータが消灯している場合は、音多バランスツマミは働きません。
- ディスクがディスクトレイにセットされているときに、電源を入れた場合は、ダイレクト選曲の文字が点滅してから選曲してください。
- マイクをご使用にならないときは、必ずマイクをマイクジャックから抜いておいてください。

■カラオケ練習に便利な機能について

■リピート演奏

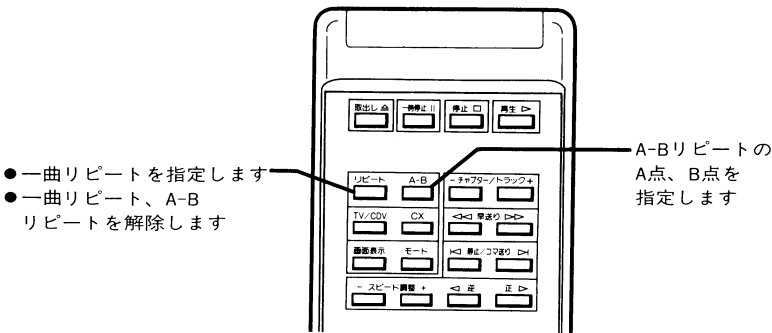
再生中にリピートキーを押しますと、画面にREP ONEが表示され、その曲をリピート(繰り返し)演奏します。

- ・リピートを解除するときは、もう一度リピートキーを押します。画面にはREP OFFが表示されます。
- ・カラオケモードのときはディスクの片面の全曲のリピート(REP ALL)はできません。

■A-Bリピート

あるフレーズを繰り返したいときに便利です。

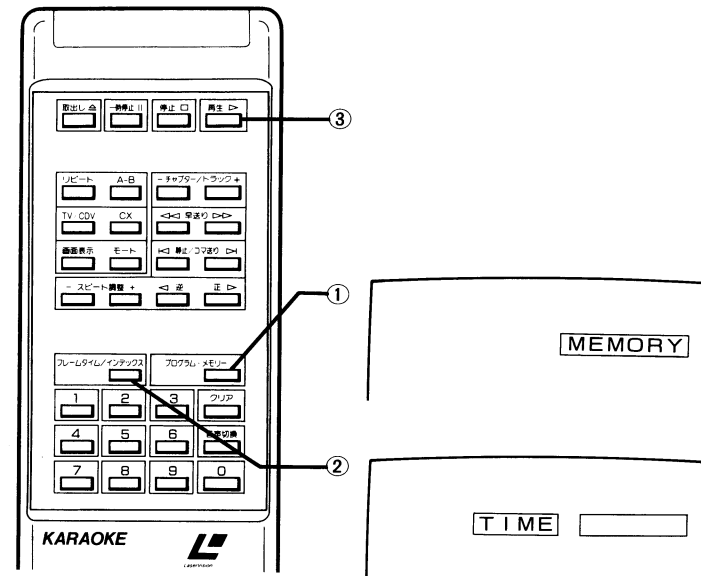
- ①繰り返しを始めた箇所になりましたら、A-Bキーを一度押します。A点が指定されました。
 - ②繰り返しを終えたい箇所になりましたら、もう一度A-Bキーを押します。B点が指定されると同時に、演奏はA点に戻り、A-B間のリピート演奏を繰り返します。
- A-Bリピートを解除するときは、リピートキーを押します。画面にはREP OFFが表示されます。



■曲のある箇所からもう一度演奏させたいときは…メモリー

演奏中にもう一度演奏を始めたい箇所がありましたら、メモリー機能を使うと便利です。

- ①もう一度演奏を始めたい箇所になりましたら、リモコンのプログラム・メモリーキーを押します。画面にはMEMORYが表示されます。
- ②フレームタイム・インデックスキーを押します。画面にはメモリーキーを押したときの時間が表示されます。
- ③再生キーを押しますと、メモリーキーでメモリーした時間から演奏が再開されます。

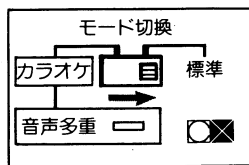


リピート演奏、メモリー演奏は標準再生のそれぞれの項もご参照ください。

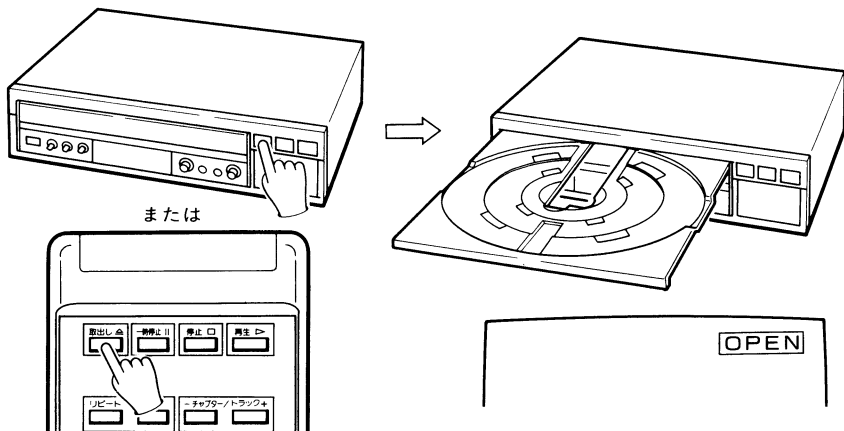
標準再生のしかた

- 1** 本機および接続した各機器の電源を入れます。
*CDV、LDを再生するときは、接続したテレビを本機の再生ができるようにセットします。

- 2** モード切換スイッチを“標準”側にします。
●モード切換スイッチの切り換えは停止状態（STOPが表示されているとき）で行ってください。

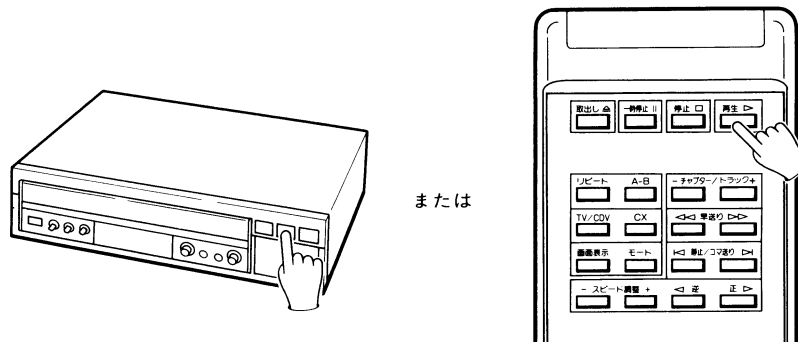


- 3** 取出しキーを押しディスクトレイを開けます。

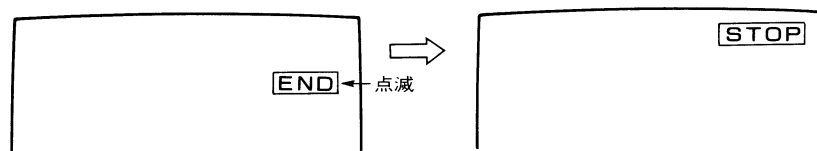


- 標準再生モードの場合(モード切換スイッチが“標準”側)
ディスクトレイにディスクがセットされている状態で電源が入りますと、自動に再生がスタートします。(タイマー再生をすることができます)。

- 4** 再生キーを押しますと、ディスクトレイが閉まり再生が始まります。ダイレクト選曲キーを押しても、ディスクトレイは閉まり、指定した曲から再生がスタートします。
*ディスクトレイは一時停止キー、停止キーあるいは、ディスクトレイを手で軽く押しても閉めることができます。



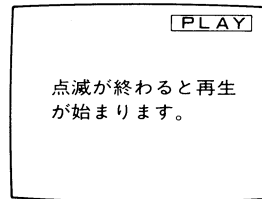
- 5** 再生が終了しますとストップ状態になります。



- 12cm CDVはビデオパートの再生が終了しますと、自動的にオーディオパートのトラック1の再生に移り、オーディオパートがすべて終了しますとストップします。

■スタート時の表示について

20cm・30cm CDV LD

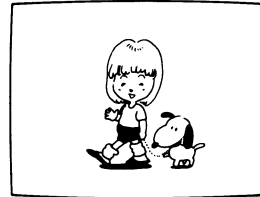


ディスクの情報が画面表示されます。(CAV、CLV、SIDE-A など)



(再生が始まるまで多少時間がかかります。)

再生

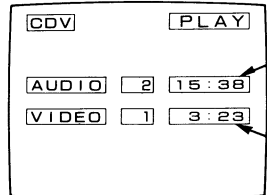


12cm CDV

オーディオパートの総曲数、総演奏時間、ビデオパートの総曲数、総演奏時間が表示されます。

例) オーディオパート 2 曲、総再生時間 15 分 38 秒

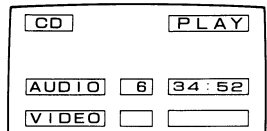
ビデオパート 1 曲、再生時間 3 分 23 秒のディスクをセットしますと



オーディオパート
ビデオパート

ビデオパート
再生時

CD

オーディオパート
再生時

CD再生時にも画面にはCDの総曲数、総演奏時間、演奏状態が表示されます。

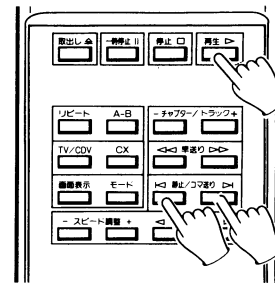
(CD再生時はビデオパート表示は空欄です)

12cmCDVは自動的にビデオパートから再生がスタートしますので、再生開始時はビデオパートのトラックナンバーを表示します。

■ピクチャーストップについて **LD**

ピクチャーストップコードが記録されているディスクを再生するときは、コードで指定されているフレーム(画面)まで再生されたと、自動的に静止画となります。その場合は、再生キーや静止/コマ送りキーを使って、画面を次のステップへ進めたり、前のステップへ戻すことができます。

*ピクチャーストップについてはディスクの解説書をご参照ください。



●注意

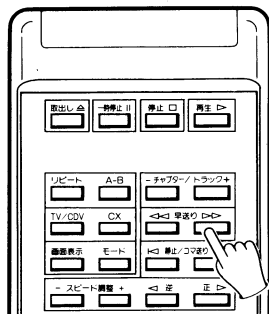
- 再生中は本機を動かさないでください。
再生中、ディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり、動かしたりしますとディスクを傷つける恐れがあります。本機を移動などするときは必ず再生を止め、ディスクを取り出してください。
- ディスクトレイは手で無理に開閉しないでください。
- 本機をご使用にならないときは、ゴミやホコリを避けるためにディスクトレイは閉めておいてください。
- 一度にセットできるディスクは1枚です。LDとCDVやCDを重ねてセットしますと、ディスクを傷付けたり、本機の故障の原因ともなりますので絶対におやめください。またディスクトレイにはディスク以外のものをセットしないでください。
- 引き出したままのディスクトレイに強い力(特に上下方向)を加えますと本機の故障の原因となります。また本機が落下する危険もあります。

■早送り・早戻しについて

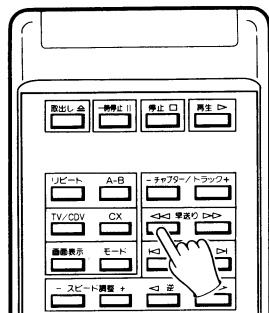
リモコンの早送りキーを使いますと、再生したいところを探すことができます。

▷▷ キーを押しますと早送り、◀◀キーを押しますと早戻しになります。押し始めの3秒間は中速で、その後は高速で早送り再生となります。

●早送り



●早戻し



*ポーズ中にも早送り、早戻しはできますが、ストップ状態のときは早送り・早戻しはできません。

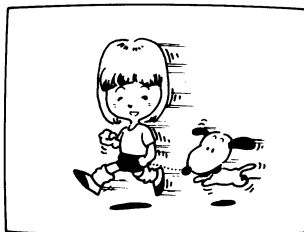
20cm・30cm CDV LD

キーを押している間だけ早送り・早戻しの画像が見られますが、そのとき音声は消えます。

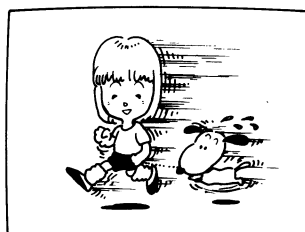
*CLV / 長時間ディスクでは画像が乱れることがあります。

●早送り

最初の3秒間中速

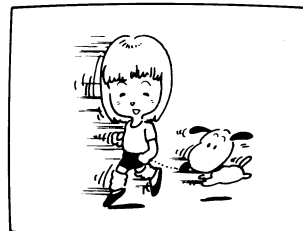


3秒経過後高速

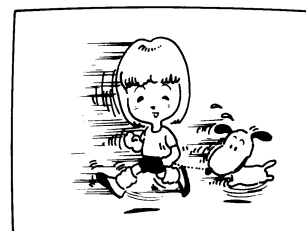


●早戻し

最初の3秒間中速



3秒経過後高速



12cm CDV

●ビデオパートを再生中やポーズ中は

キーを押し続け、再生したいところになりましたらキーから指を離します。

その位置から再生またはポーズになります。

*ビデオパートを再生中に早送りまたは早戻しを行いますと音声は消えます。また画像が乱れることがあります。

●オーディオパートを再生中やポーズ中は

早送りまたは早戻しをしている間は再生音が小さな音で聴こえますので、聴きたいところになりましたらキーから指を離します。

その位置から再生またはポーズになります

CD

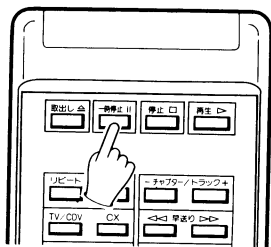
早送りまたは早戻しをしている間は再生音が小さな音で聴こえますので、聴きたいところになりましたらキーから指を離します。

その位置から再生またはポーズになります。

■再生を一時止めるには…一時停止 **LD CDV CD**

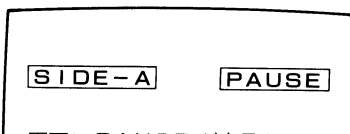
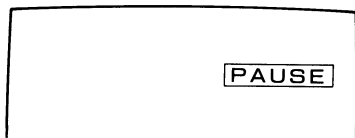
リモコンの一時停止キーを一回押します。

音声または映像は、その位置で一時停止します。(ディスクは回転を続けています。)



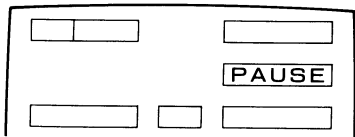
一時停止中は「▷」インジケーターが点滅します。

20cm・30cm CDV LD



または
画面に PAUSE が表示されます。

12cm CDV CD



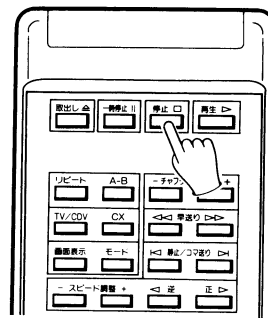
*再生を再開する場合は一時停止キーまたは再生キーを押します。

■再生を止めるには……停止

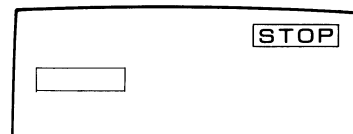
本体またはリモコンの停止キーを押します。

ストップ(停止)状態になり、ディスクの回転は停止します。

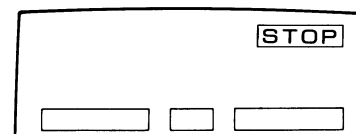
再生キーを押しますとディスクの頭から再生がスタートします。(12cm CDV はビデオパートの頭から再生がスタートします。)



20cm・30cm CDV LD



12cm CDV CD

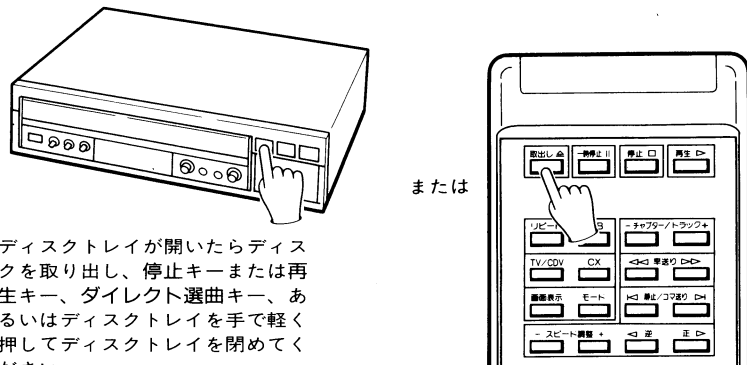


ストップ状態になります。

再生を終了するには

■ディスクの取り出ししかた

本体またはリモコンの**取出し**キーを押します。
ディスクトレイが完全に開いてから、ディスクを取り出します。

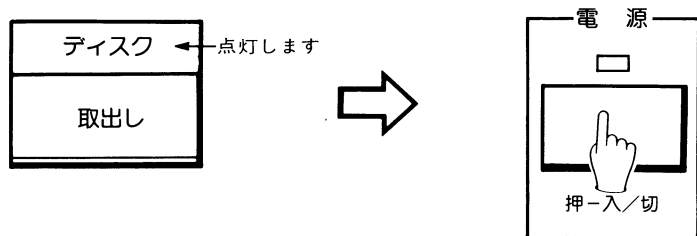


ディスクトレイが開いたらディスクを取り出し、停止キーまたは再生キー、ダイレクト選曲キー、あるいはディスクトレイを手で軽く押してディスクトレイを閉めてください。

■再生を終えるときは

ディスクトレイ内にディスクが無いことを確認してからディスクトレイを閉め、本体の電源スイッチを押して電源を切ります。

●ディスクトレイにディスクが無いときは、取出しキーの“ディスク”の文字が点灯します。



テレビ放送を見るには

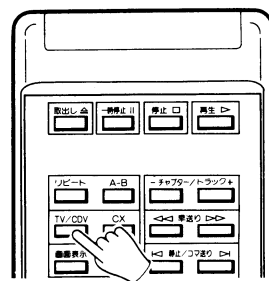
■映像・音声入力端子なしテレビの場合

① (10ページの接続例A、Bの接続をしている場合)
リモコンの**TV/CDV**キーを押します。

② テレビで**見たいチャンネル**を選びます。

*VHFアンテナは本機を経由してテレビにつながります。

*ディスクを再生中に**TV/CDV**キーを押した場合、画面はテレビ放送に切り換わっていますが、ディスクは再生を続けています。長時間テレビ放送をご覧になる場合は、ディスクを取り出し、本機の**電源スイッチ**を切ってください。



■映像・音声入力端子付テレビの場合

① テレビの**チャンネル**または**テレビ/ビデオ切換スイッチ**を“**テレビ**”に切り換えます。(テレビの取扱説明書をご参照ください。
見たい**チャンネル**を選びます。

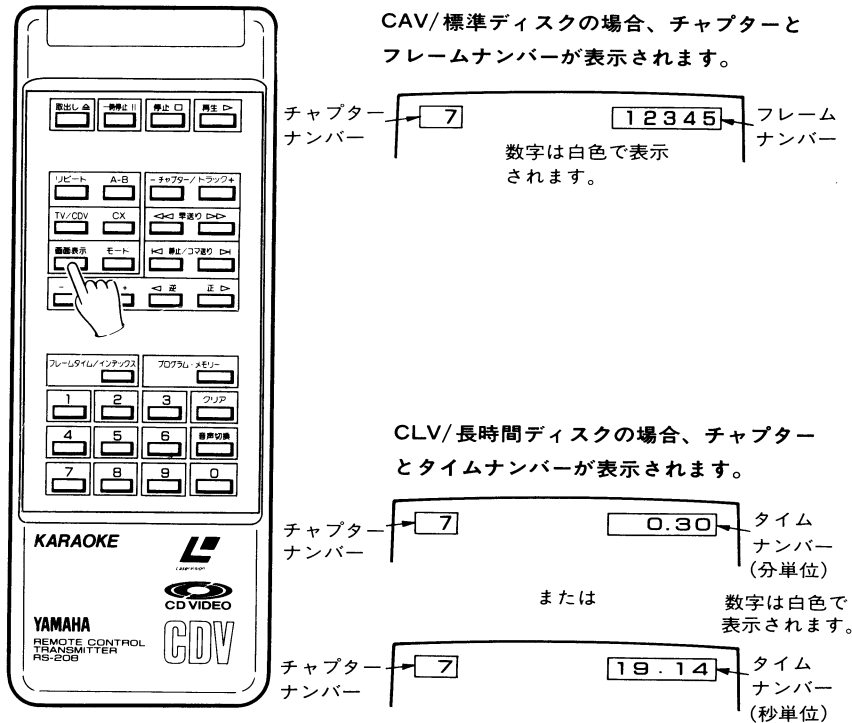
② 本機の**電源スイッチ**を切ります。

ご注意

テレビ放送の電波が弱い地域では、本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、画面にしま模様が出る場合がありますが故障ではありません。このような場合は、本機の**電源スイッチ**を押して電源を切ってください。

画面表示について **20cm・30cm CDV LD**

再生中に画面表示キーを押しますと、チャプター、フレームまたはタイムナンバー（時間）が表示され、もう一度押しますと表示が消えます。



- 20cm・30cm CDVおよび12cm CDVのビデオパート再生中に画面表示キーを押しますと、トラックナンバー、インデックスナンバー、タイムナンバー（トラックタイム）が表示されます。

メモ

LDや20cm・30cm CDVディスクには映像・音声と同時に、チャプターナンバー、フレーム(タイム)ナンバーが記録されています。
※20cm・30cm CDVにはインデックスナンバーが記録されているものがあります。

チャプターナンバー(CAV/標準ディスク・CLV/長時間ディスク)
ディスクプログラムの区切りを示します。書物における“章”番号に相当します。
※ディスクのなかにはチャプターナンバーの記録されていないものもあります。

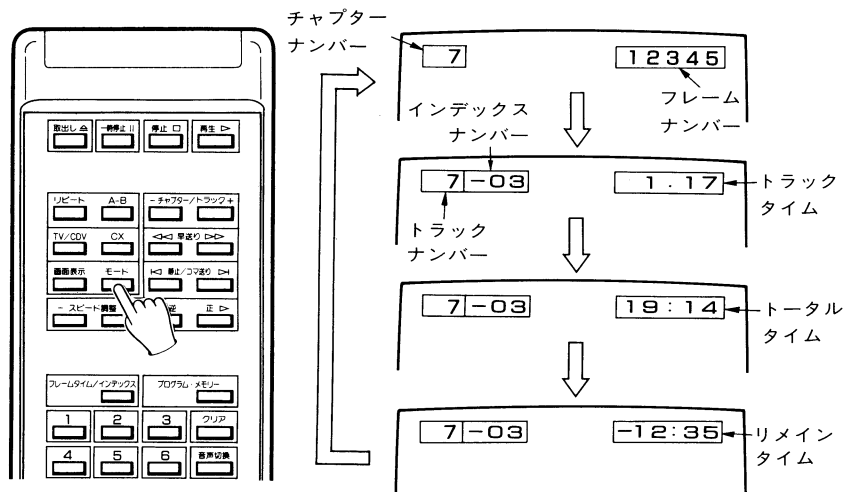
フレームナンバー(CAV/標準ディスク)
ディスクプログラムのはじめから、1つ1つの画面に連続して付けられている番号です。書物における“ページ”に相当します。

タイムナンバー(CLV/長時間ディスク)
ディスクのはじめからプレイモードで再生した場合の経過時間の表示です。
ディスクによって分単位のものや秒単位のものがあります。

モード表示について **CDV CD**

20cm・30cm CDV

再生またはポーズ中にモードキーを押しますと、キーを押すごとにディスプレイおよび画面表示が下のように切り換わります。



トラックタイム (TIME) = 再生中のトラックの頭からの経過時間

トータルタイム (TOTAL) = ディスクの頭からの経過時間

リメインタイム (REMAIN) = ディスクの演奏残り時間

12cm CDV

「ビデオパートの再生またはポーズ時」

モードキーを押しますと、ディスプレイ表示をトラックタイム→トータルタイム→リメインタイムの順に切り換えることができます。

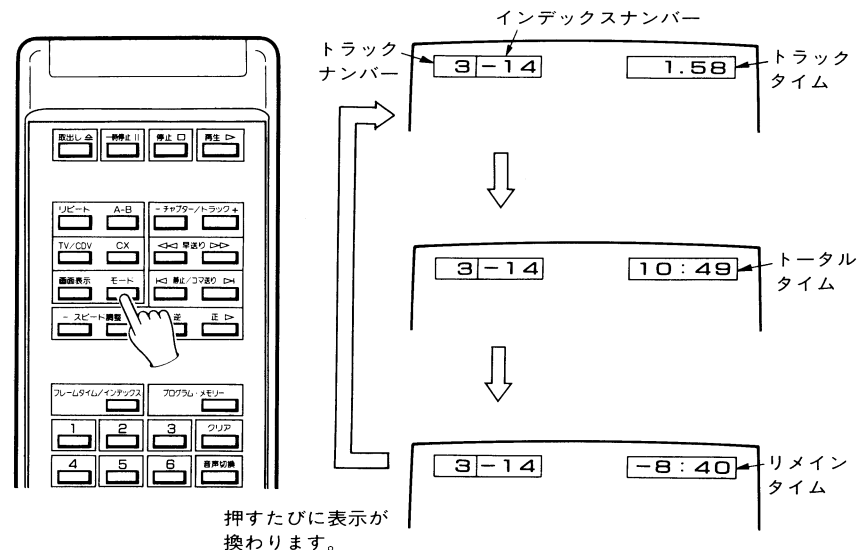
トラックタイム (TIME) = 再生中のトラックの頭からの経過時間

トータルタイム (TOTAL) = ビデオパートの頭からの経過時間

リメインタイム (REMAIN) = ビデオパートの演奏残り時間

「オーディオパートの再生またはポーズ時」

モードキーを押しますと、ディスプレイおよび画面表示が下のように切り換わります。



押すたびに表示が換わります。

トラックタイム (TIME) = 再生中のトラックの頭からの経過時間

トータルタイム (TOTAL) = オーディオパートの頭からの経過時間

リメインタイム (REMAIN) = オーディオパートの演奏残り時間

CD

モードキーを押しますと CDV のオーディオパート再生またはポーズ時と同時にディスプレイおよび画面表示が変わります。

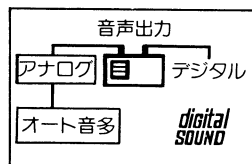
- 操作のしかたは、12cm CDVの「オーディオパート再生時」の項をご参照ください。
- 画面表示キーを押して、画面に表示させていないときや、ディスプレイオフ機能が働いているときは、画面表示されません。
- LD再生時はモードキーは働きません。

音声出力切替について

20cm・30cm CDVやLDのなかには、(カラオケディスクも含めて) 音声デジタルとアナログの両方で記録され、再生時にそのどちらかを選択できるものがあります。

(ディスクのジャケットの記載をご確認ください)

本機は、音声出力切替スイッチでアナログ音声とデジタル音声を選択することができます。



■カラオケ音声多重ディスクの場合は

音声多重ディスクを演奏する場合は、音声出力切替スイッチを下表のようにセットしてください。ディスクの種類と音声出力切替スイッチの位置により、本機の出力が変わります。

アナログ/オート音多の位置で再生される出力はモノラルです。

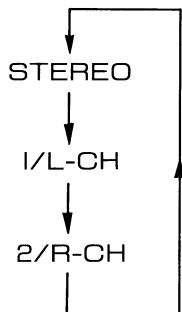
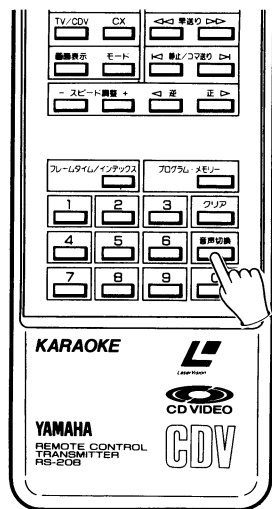
ディスクの種類	ディスク		音声出力切替スイッチ		本機の音声出力
	ディスクの音声記録		アナログ オート音多	デジタル	
	デジタル音声	アナログ音声			
20, 30cm CDV, LD	ステレオ	音多	●		音多
				○	ステレオ
	音多	音多	●		音多
				●	音多
	ステレオ	ステレオ	○		ステレオ
				○	ステレオ
	—	音多	●		音多
		●			音多(アナログ)
—	ステレオ	○		ステレオ	
			○	ステレオ(アナログ)	
CD 12cm CDV	ステレオ	—	●		音多(デジタル)
				○	ステレオ
	音多	—	●		音多(デジタル)
				※	

●：音声多重のインジケータが点灯、音多バランスつまみが働きます。再生される出力はモノラルです。

※：CD, 12cm CDV の音声多重ディスクを演奏する場合は、音声出力切替スイッチをアナログ/オート音多側にしてください。デジタル側では音多バランスつまみははたらきません。

音声切換について **LD CDV CD**

本機は電源を入れたときはステレオモードに設定されていますが、リモコンの音声切換キーを押すごとにSTEREO (ステレオ) → 1/L-CH (1/左チャンネル) → 2/R-CH (2/右チャンネル) → STEREOの順に切り換わります。音声多重ディスクやバイリンガルディスクを再生するときなど、必要に応じて切り換えてください。





「音声切換キーによる音声の再生」

表示	VHF OUT端子および MONO OUT端子	AUDIO SIGNAL端子	
		L	R
STEREO	1/L, 2/Rのミックス (モノラル)	1/L	2/R
1/L-CH	1/L-CH (カラオケモード：カラオケ)		
2/R-CH	2/R-CH (カラオケモード：カラオケ+ボーカル)		

●ディスクトレイを開閉しますと選択したモードはキャンセルされ、自動的にステレオモードに戻ります。

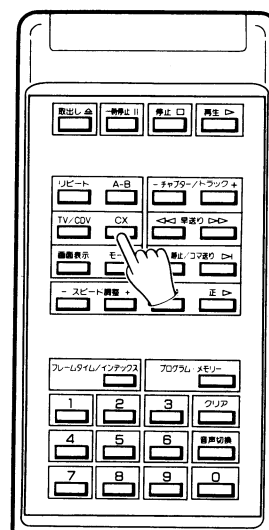
CX NRについて **20cm・30cm CDV LD**


20cm・30cm CDVやLDのなかには  マークの記載されたものがあります。このマークはCX NR (CXノイズリダクション) を使って音声記録されていることを示しています。CX NRはS/N比を向上させ、ダイナミックレンジを拡大しますので、雑音の少ない迫力ある再生音を生み出します。(ジャケットの  マークをご確認ください。)

本機はCX NRディスクを再生しますとそれを検出し、自動的にCX NRシステムが働きます。

また一部ディスクにはCX NR自動検出コードを持っていないディスクがあります。そのようなディスクを再生する場合は、CXキーを押して本機のCX NRシステムをONにしてください。

- CX NRが自動的に検出されるディスクは、CX NRをON/OFFにすることはできません。
- CX NRで記録されていないディスクの場合はCXキーを押しますと、CX OFFが表示されます。



*  はCBSの登録商標です。

スキップ再生

20cm・30cm CDV LD

頭出しの方法にはチャプタースキップとチャプターサーチの2種類があります。前後のチャプターの頭出しにはチャプタースキップを使い、任意のチャプターの頭出しにはチャプターサーチを使うと便利です。

- スキップおよびサーチ中は画像と音声は消えます。
- 20cm・30cm CDV** でチャプタースキップをするときは、モードキーを押してチャプター表示にします。

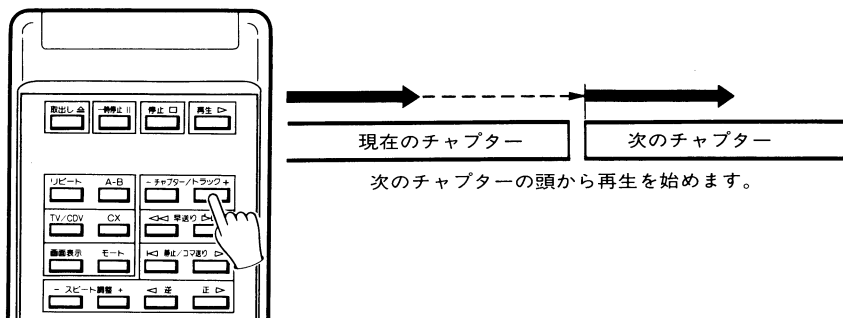
■チャプタースキップ

次のチャプターの頭まで飛んで(スキップ)再生を開始したり、現在再生中のチャプターの頭に戻って再生を始めることができます。

■次のチャプターの頭にスキップするときは、“+”キーを押します。

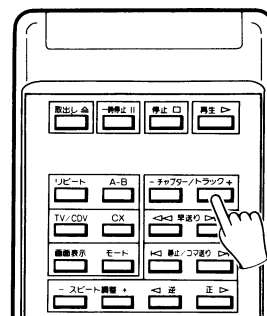
繰り返して押しますと、押した回数だけスキップします。

ディスクに記録されているチャプターナンバー以上にスキップしようと“END”表示後ストップ状態になります。

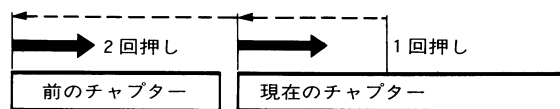


■再生中のチャプターの頭に戻って再生する場合は“-”キーを押します。

一回押しますと、そのチャプターの頭に戻り、もう一度押しますと一つ前のチャプターの頭に戻り再生を開始します。



“-”キーを2回押します。
(1回押すと現在再生中のチャプターの頭に戻ります。)



- ポーズ中やストップ状態でもチャプタースキップすることができます。
- 繰り返して押しますと、前の前のチャプターへスキップすることができます。
- プログラム再生中にキーを押しますと、プログラムされた次(または前)のチャプターにスキップします。
- チャプターの記録されていないディスクではチャプタースキップできません。

CDV CD

頭出しの方法にはトラックスキップとトラックサーチの2種類があります。前後のトラック(曲)の頭出しにはトラックスキップを使い、任意のトラックの頭出しにはトラックサーチを使うと便利です。

- ビデオパートを再生中に頭出し操作を行いますと、映像と音声は消えます。
- 20cm・30cm CDV** でトラックスキップをするときは、モードキーを押してトラック表示にします。

■トラックスキップ

次のトラックの頭まで飛んで(スキップ)再生を開始したり、現在再生中のトラックの頭に戻って再生を始めることができます。

■次のトラックの頭にスキップするときは、“+”キーを押します。

繰り返して押しますと、押した回数だけスキップします。

サーチ再生

20cm・30cm CDV LD

頭出しの方法にはチャプタースキップとチャプターサーチの2種類があります。前後のチャプターの頭出しにはチャプタースキップを使い、任意のチャプターの頭出しにはチャプターサーチを使うと便利です。

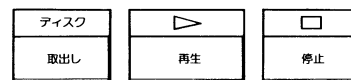
- スキップおよびサーチ中は画像と音声は消えます。
- 20cm・30cm CDV** でチャプターサーチをするときは、モードキーを押してチャプター表示にします。

■チャプターサーチ

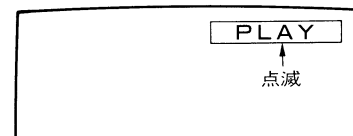
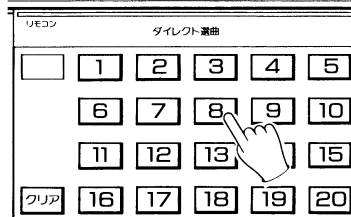
1 ダイレクト選曲キーで頭出しをするチャプターを指定します。

選択されたチャプターの頭から再生がスタートします。

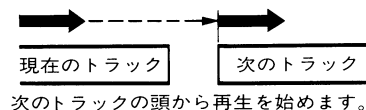
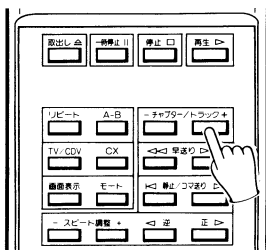
(例) チャプター8をサーチするには



ダイレクト選曲キーの“8”を押しますと、自動的にチャプター8のサーチを開始します。

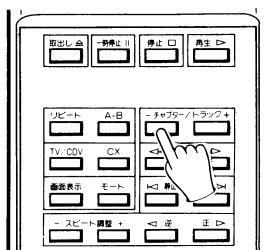


- カラオケモードのときは、選曲したあとに再生キーを押してください。
- CAV/標準ディスクの場合、サーチ中にマルチスピードキーや静止・コマ送りキーを押しますと、サーチ後はそのモードで再生されます。
- ディスクに記録されているチャプターナンバー以上の数を指定しますと、サーチ後は“END”を表示し、ストップ状態になります。

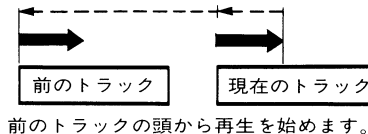


- 再生中にディスクの最後のトラックまでスキップしますと、それ以上のトラックスキップは受け付けず、最後のトラックが再生されます。
- ポーズ中やストップ状態でもトラックスキップをすることができます。
- ディスクトレイが開いているときなど、ディスクの情報が読み込まれるまでに、ディスクに収録されている以上のトラックナンバーを指定し再生しますと、“END”表示後にストップ状態になります。

- 再生中のトラックの頭に戻って再生する場合は、“-”キーを押します。一回押しますと、その曲の頭に戻り、もう一度押しますと一つ前のトラックの頭に戻ります。



“-”キーを2回押します。
(1回押すと現在再生中のトラックの頭に戻ります。)



- 繰り返して押しますと、押すごとに前のトラックへスキップすることができます。ディスクの頭までスキップしますと、それ以上は受け付けず最初のトラックの再生が始まります。
- プログラム再生中にキーを押しますと、プログラムされた次(または前)のトラックにスキップします。

CDV

頭出しの方法にはトラックスキップとトラックサーチの2種類があります。前後のトラック(曲)の頭出しにはトラックスキップを使い、任意のトラックの頭出しにはトラックサーチを使うと便利です。

- **20cm・30cmCDV** でトラックサーチをするときは、モードキーを押してトラックタイム表示にします。

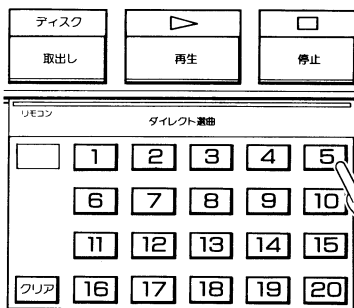
■トラックサーチ

1 ダイレクト選曲キーで頭出しをするトラックを指定します。

選択されたトラックの頭から再生がスタートします。

- ディスクに記録されているトラック以上の数を指定しますと、サーチ後は“VIDEO END”を表示し、ストップ状態になります。12cm CDVは“VIDEO END”表示後にオーディオパートの再生に移ります。

(例) **トラック5を再生するには**



ダイレクト選曲キーの“5”を押しますと、自動的にトラック5のサーチを開始します。

- カラオケモードのときは、選曲したあとに再生キーを押してください。

CD

頭出しの方法にはトラックスキップとトラックサーチの2種類があります。前後のトラック(曲)の頭出しにはトラックスキップを使い、任意のトラックの頭出しにはトラックサーチを使うと便利です。

- トラックサーチの方法はCDVと同様です。CDVの項をご参照ください。
- ディスクに記録されているトラック以上の数を指定しますと、サーチ後“END”を表示しストップ状態になります。

リモコンのテンキーを使ったチャプター/トラックサーチの方法

- 1 テン(1~0)キーで頭出しをするチャプター/トラックを指定します。
- 2 再生キーを押します。

フレームナンバーサーチ/タイムナンバーサーチ

LD, 20cm・30cm CDVではフレームナンバーまたはタイムナンバーを利用して目的の映像を呼び出すことができます。

■フレームナンバーサーチ

20cm・30cm CDV LD(CAV/標準ディスク)

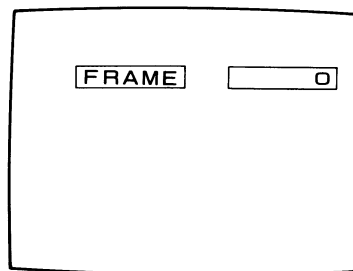
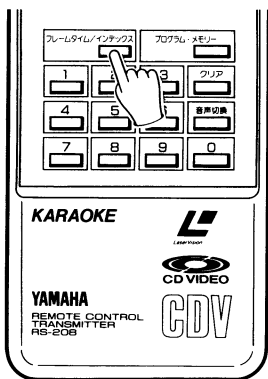
フレームナンバーを指定すれば、その画面から再生を行なうことができます。

● ディスクトレイの開閉動作中は、フレームナンバーサーチはできません。

● **20cm・30cm CDV** でフレームナンバーサーチをするときは、モードキーを押してフレームナンバー表示にします。

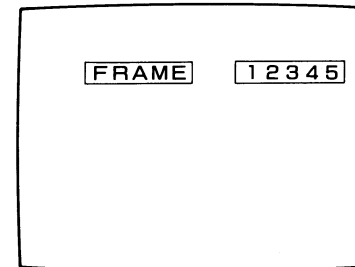
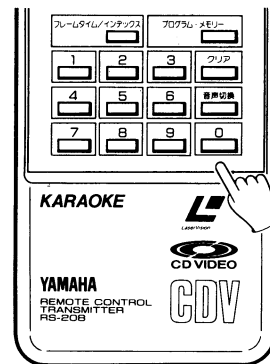
例) …12345番のフレームの映像をサーチするには

1 フレーム・タイムキー^{インプット}を押し、画面にフレームナンバー入力表示を出します。



2 テン(1~0)キーでフレームナンバーを指定します。

この場合は「1」、「2」、「3」、「4」、「5」、と押します。

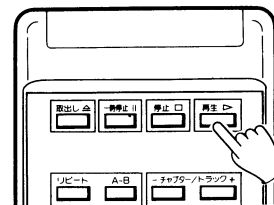


フレームナンバーを変更するときは、クリアキーを押してから新しいフレームナンバーを指定しなおしてください。

またクリアキーを2回続けて押しますと、フレームナンバーサーチを解除することができます。

3 再生キーを押します。

サーチ後、指定したフレームから再生がスタートします。



● フレームサーチ後、静止画再生にしたい場合は、再生キーを押すかわりに静止画/コマ送りキー(◀または▶)を押します。

● フレームナンバーサーチを解除するときは、もう一度フレーム・タイムキーを押します。

■タイムナンバーサーチ

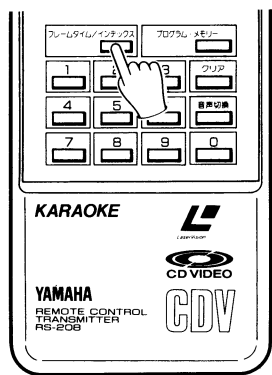
20cm・30cm CDV LD (CLV/長時間ディスク)

ディスクの任意の時間を指定し、そこから再生を行うことができます。ディスクによっては時間表示が「分」単位のもの、「秒」単位のものがあります。「分」単位のディスクでは一分間隔のタイムサーチとなり、秒単位のディスクでは一秒間隔のタイムサーチとなります。

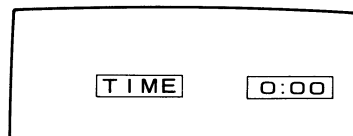
- ディスクトレイの開閉動作中はタイムナンバーサーチはできません。
- **20cm・30cm CDV** でタイムナンバーサーチをするときは、モードキーを押してタイムナンバー表示にします。

例) …ディスクの頭から24分の画面をサーチするには

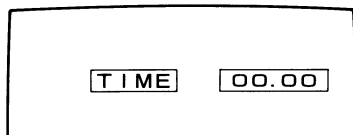
- 1 フレーム・タイムキー^{インプット}を押し、画面にタイムナンバー入力表示を出します。



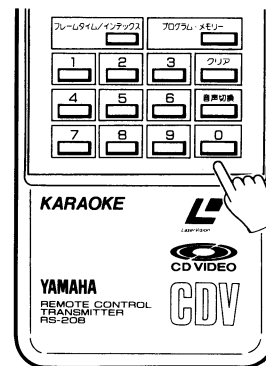
分単位のディスクの画面



秒単位のディスクの画面



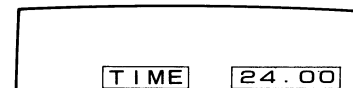
- 2 テン(1~0)キーでタイムナンバーを指定します。



分単位ディスクのときは
2[4]と押します。

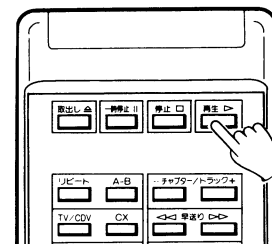


秒単位ディスクのときは
2[4][0][0]と押します。



タイムナンバーを変更するときは、クリアーキーを押してから新しいタイムナンバーを指定しなおしてください。
またクリアーキーを2回続けて押しますと、タイムナンバーサーチを解除することができます。

- 3 再生キーを押します。



サーチ後、指定したタイムナンバーから再生がスタートします。

* タイムナンバーサーチを解除するときは、もう一度フレーム・タイムキーを押します。

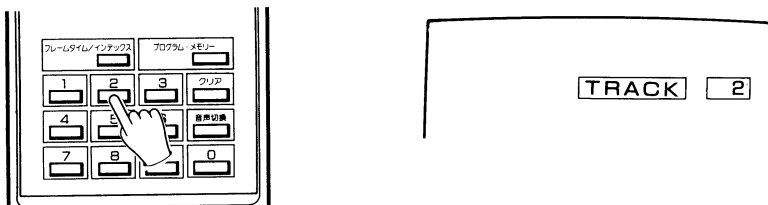
ディスクの任意の時間を指定し、その位置から再生をスタートさせることができます。タイムサーチには、トラック(曲)ごとの経過時間を指定するトラックタイムサーチとディスクの頭からの再生経過時間を指定するトータルタイムサーチおよび演奏残り時間を指定するリメインタイムサーチの3種類の方法があります。

■トラックタイムサーチ

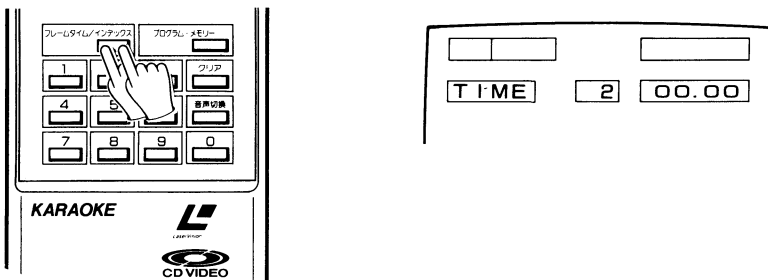
- **20cm・30cm CDV** でトラックタイムサーチをするときは、モードキーを押してトラックタイム表示にします。

例) トラック2の3分45秒から再生するには

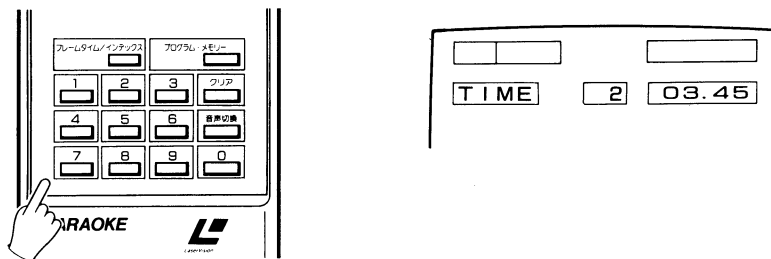
- 1** テン(1~0)キーでトラックを選びます。
この場合は`2`です。



- 2** フレーム・タイムキーを2回続けて押します。
選曲ナンバーディスプレイの曲番が点滅していることを確認してください。



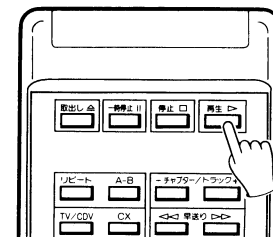
- 3** テン(1~0)キーでトラックタイムを指定します。
この場合は`3`、`4`、`5`と押します。



トラックタイムを変更するときは、クリアキーを押してから新しいトラックタイムを指定しなおしてください。
またクリアキーを2回続けて押しますと、トラックタイムサーチを解除することができます。

- 4** 再生キーを押します。

トラック2の3分45秒から再生がスタートします。

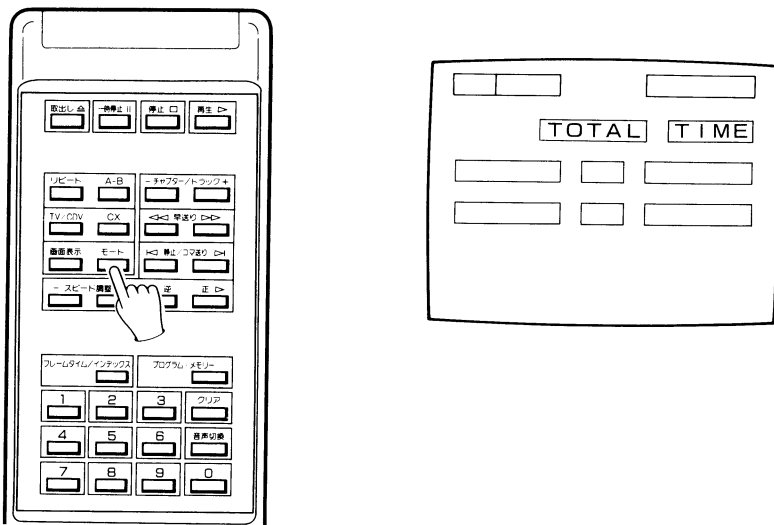


- * 指定中にトラックタイムサーチを解除するときは、もう一度フレーム・タイムキーを押してください。
- * 指定したトラックタイムが、そのトラックに無い場合は次のトラックの頭から再生されます。
- * 12cmCDVのビデオパート再生中に同様の指定をしますと、オーディオパートの1曲目の再生がスタートします。

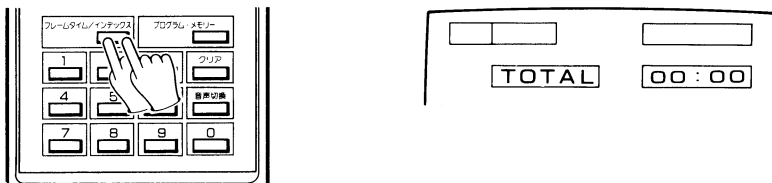
■トータルタイムサーチ

例) ディスクの頭から4分30秒の位置から再生するには

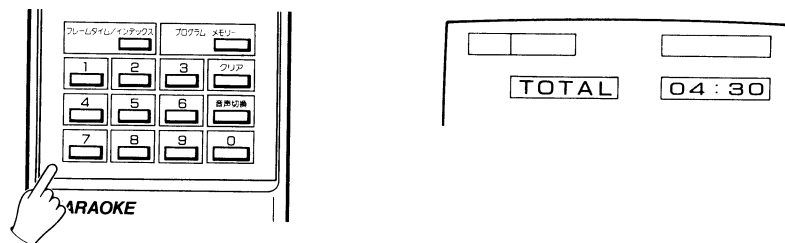
1 モードキーを押し、TOTAL TIME表示にします。



2 フレーム・タイムキーを2回続けて押します。

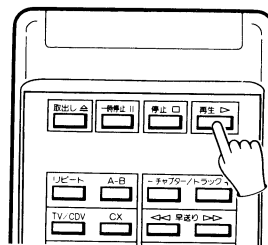


3 テン(1~0)キーでトータルタイムを指定します。
この場合は「4」、「3」、「0」と押します。



トータルタイムを変更するときは、クリアキーを押してから新しいトータルタイムを指定しなおしてください。
またクリアキーを2回続けて押しますと、トータルタイムサーチを解除することができます。

4 再生キーを押します。
4分30秒の位置から再生がスタートします。

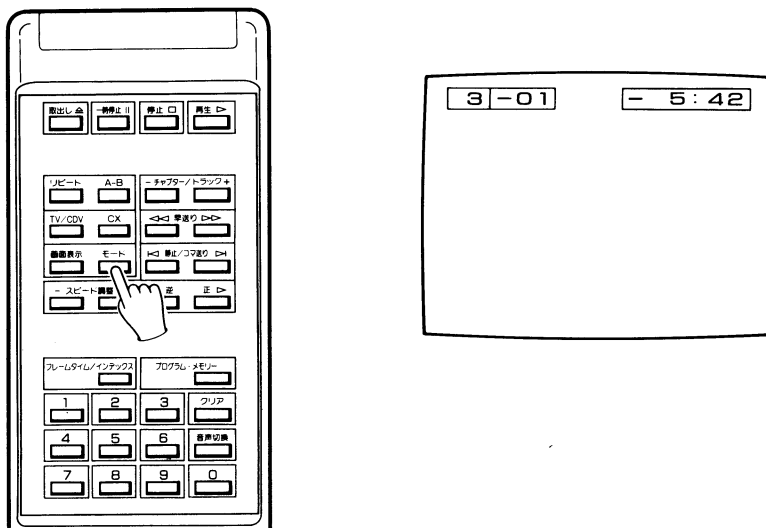


- * 12cmCDVのビデオパート再生中は、ビデオパートの頭からのトータルタイムサーチとなります。
- * 12cm CDVではビデオパートからオーディオパートへ、またはオーディオパートからビデオパートへパートをまたいだトータルタイムサーチはできません。
- * 12cmCDVのオーディオパートの総再生時間をオーバーしたトータルタイムを指定しますと、オーディオパートの最後でストップ状態になります。

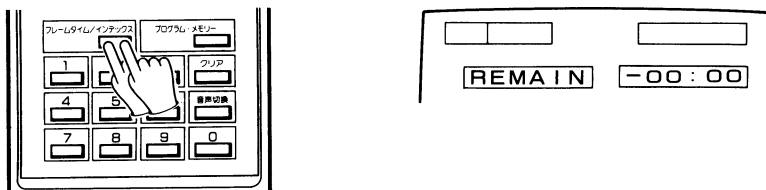
■リメインタイムサーチ

例) ディスクの残り4分30秒の位置から再生するには

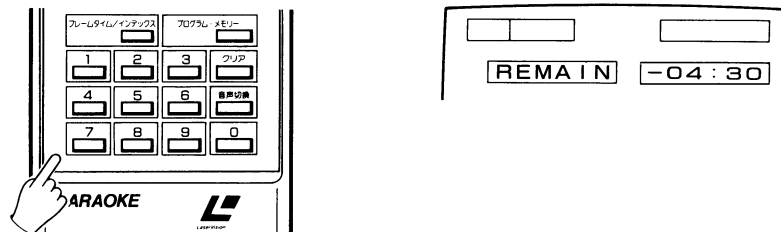
1 モードキーを押し、REMAIN TIME表示にします。



2 フレーム・タイムキーを2回続けて押します。



3 テン(1~10)キーでリメインタイムを指定します。
この場合は"4"、"3"、"0"と押します。

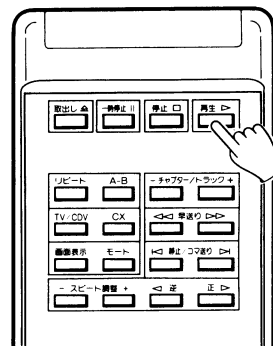


リメインタイムを変更するときは、クリアキーを押してから新しいリメインタイムを指定しなおしてください。

また、クリアキーを2回続けて押しますと、リメインタイムサーチを解除することができます。

4 再生キーを押します。

演奏残り時間4分30秒の位置から再生がスタートします。



- 12cmCDVのビデオパートもしくはオーディオパートを再生中にリメインタイムサーチをしますと、それぞれのパート内でのサーチとなります。


インデックスサーチ **CDV CD**

インデックスナンバーから再生するには

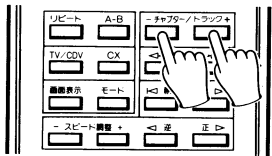
- インデックスナンバーとは
クラシック音楽など、ひとつの曲がいくつかの楽章によって構成されている場合、各楽章ごとにインデックスというナンバーがつけられているディスクがあります。そのようなディスクはインデックス単位で再生をスタートさせることができます。
- インデックスナンバーが記録されているディスクには **INDEX** マークがディスクのジャケットに記載されています。お確かめください。
- 20cm・30cm CDV** でインデックスサーチをするときは、モードキーを押してインデックス表示にします。

例) トラック 2 のインデックスナンバー 3 から再生を始めるときには

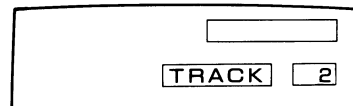
1 曲目		2 曲目		
インデックス 1	インデックス 2	インデックス 1	インデックス 2	インデックス 3


 ここから演奏をはじめます。

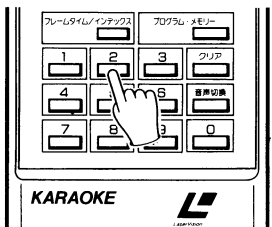
1 テン(1~0)キーで再生するトラックを指定します。



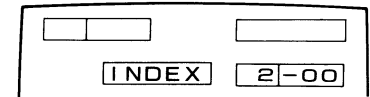
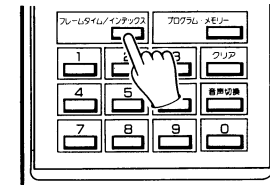
この場合は"2"です。



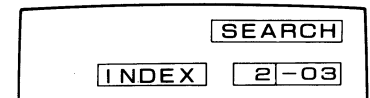
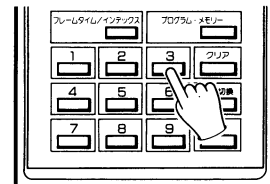
または



2 インデックスキーを押します。



3 テン(1~0、+10)キーを押してインデックスナンバーを指定します。
この場合は"3"です。



4 再生キーを押します。

- * 選択したトラックに記録されているインデックスナンバーより大きな数字を指定しますと、次のトラックを再生します。また12cmCDVでオーディオパートの最後のトラックに同様の指定をしますと、ストップになります。
- * インデックスの記録されていないディスクの再生中も"1"が表示されます。
- * インデックスナンバーが記録されていないディスクに"2"以上のインデックスナンバーを指定しますと次の曲から再生します。

インデックスナンバーを変更するときは、クリアキーを押してから新しいインデックスナンバーを指定しなおしてください。
また、クリアキーを2回続けて押しますと、インデックスサーチモードは解除されます。

プログラム再生 ●カラオケモードのときは、リモコンによるプログラム再生はできません。

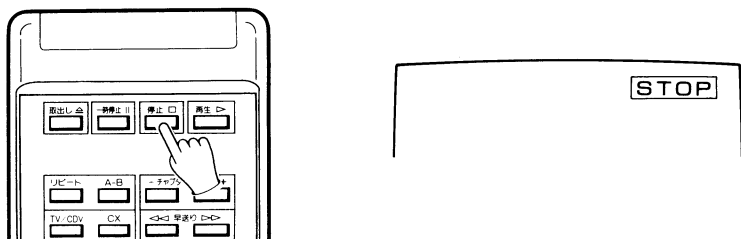
20cm・30cm CDV LD

最大15までのチャプターを選択し、順番を並び換えて再生することができます。

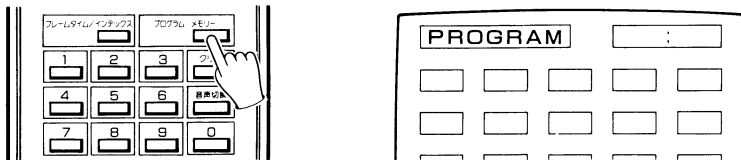
- チャプターナンバーの記録されていないディスクではプログラム再生することはできません。
- 20cm・30cmCDV はチャプターナンバー、トラックナンバーのどちらを使ってもプログラムすることができます。

例) チャプター3、チャプター5の順番でプログラム再生するには

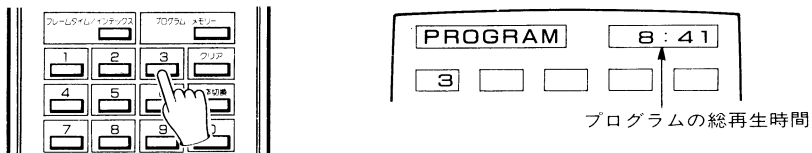
1 停止キーを押してストップ状態にします。



2 プログラム・メモリーキーを押します。



3 テン(1~0)キーでプログラムするチャプターを選びます。 この場合は'3'を押します。



4 プログラム・メモリーキーを押します。

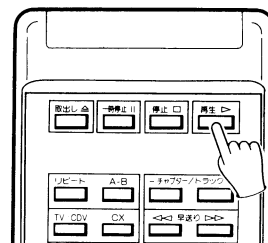
この場合は、次に'9'キー、プログラム・メモリーキーの順に押します。



- これでトラック3、5の順にプログラム再生がセットされました。
(3.4の操作を繰り返す方法でプログラム15までメモリーすることができます。)
- チャプター番号を入力中に訂正するときは、チャプターキー(+、-)で訂正する箇所を指定し(数字が反転します)、新しいチャプター番号をテンキーで指定します。
- ディスクにないチャプター番号もプログラムすることができますが、実際のプログラム再生では、スキップされます。
- 画面にはプログラム・メモリーキーを押すごとにプログラムの総再生時間が表示されますが、チャプターナンバーが21以上のチャプターをメモリーした場合は、総再生時間は表示されません。

5 再生キーを押します。

プログラムの一番目のチャプターから再生がスタートします。この場合はチャプター3です。



- プログラム再生中にチャプターキー(+、-)を使いますと、前後のプログラムを頭出しして再生するチャプタースキップをすることができます。

■プログラムを変更、追加、削除、解除するときは45ページをご参照ください。

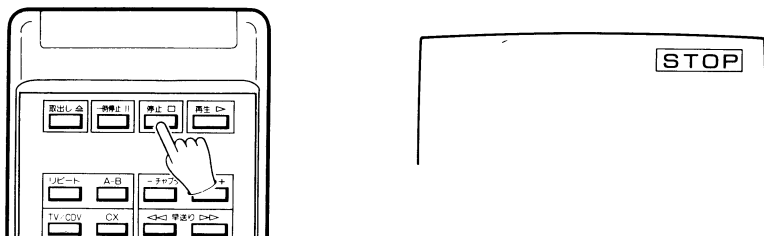
12cm CDV CD

ビデオパート、オーディオパートの区別なく最大15までのトラック(曲)を選択し、順番を並べ変えて再生することができます。

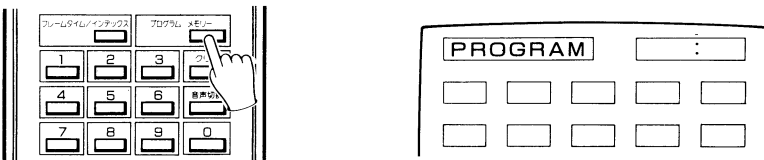
- ディスクトレイが開いているときなど、ディスクの情報が読み込まれていないときは、ディスクに無いトラックナンバーもプログラムできますが、ディスクの情報が読み取られた時点で、そのトラックナンバーは自動的に削除されます。

例) トラック3、トラック5の順番でプログラム再生するには

1 停止キーを押してストップ状態にします。

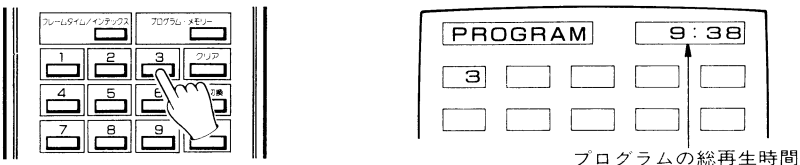


2 プログラム・メモリーキーを押します。



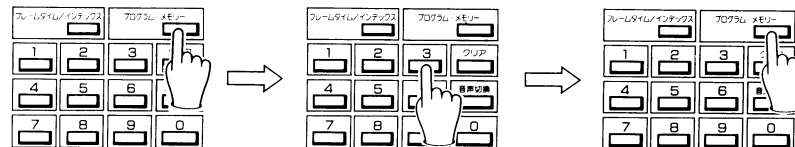
3 テン(1~0)キーでトラックを選びます。

この場合は3を押します。



4 プログラム・メモリーキーを押します。

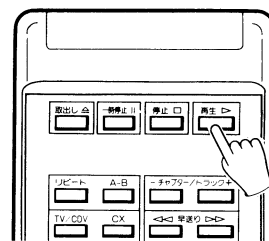
この場合は、次に「3」キー、プログラム・メモリーキーの順に押します。



- これでトラック3、5の順にプログラム再生がセットされました。(同様の方法で15までのトラックをメモリーすることができます。)
- トラック番号を入力中に訂正するときは、トラックキー(+、-)で訂正する箇所を指定し(数字が反転します)、新しいトラック番号をテンキーで指定します。
- 画面にはプログラム・メモリーキーを押すごとにプログラムの総再生時間が表示されますが、トラックナンバーが21以上のトラックをメモリーした場合には、総再生時間は表示されません。

5 再生キーを押します。

プログラムの一番目のトラックから再生がスタートします。この場合はトラック3です。



- プログラム再生中にトラックキー(+、-)を使いますと、前後のトラックを頭出しして再生するトラックスキップをすることができます。

■ プログラムを変更、追加、削除、解除するときは45ページをご参照ください。

メモリー再生

■一度プログラムをセットしたあとの変更、追加、削除、解除のしかた

●変更のしかた

- 1 停止キーを押してストップ状態にし、プログラム表示にします。
- 2 チャプター/トラックキーで変更したいプログラムを選び、新しいチャプターナンバーをテンキーで指定しプログラム・メモリーキーを押します。

●追加のしかた

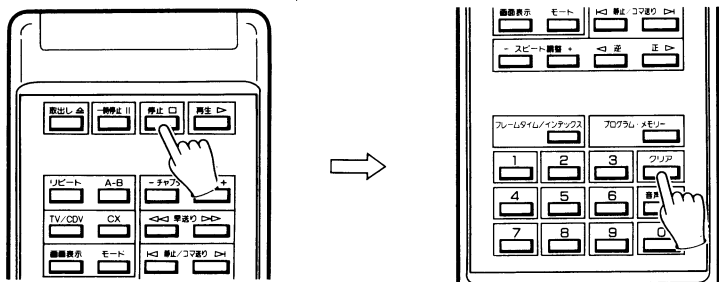
- 1 停止キーを押してストップ状態にし、プログラム表示にします。
- 2 チャプター/トラックキーの“+”を押し、プログラムの最後の曲を表示させます(枠が白く反転します)。
- 3 最後の曲を一時クリアキーで消してから再度入力します。次にテンキーで追加したいチャプターまたはトラック番号を入力しプログラム・メモリーキーを押します。

●削除のしかた

- 1 停止キーを押してストップ状態にし、プログラム表示にします。
- 2 チャプター/トラックキーで削除したいプログラムを選び、クリアキーを押しますと、そのチャプターはプログラムから削除されます。

●プログラムの解除(取り消し)のしかた

- 1 停止キーを押してストップ状態にし、プログラム表示にします。
- 2 クリアキーを押しますと、プログラム再生は解除されます。



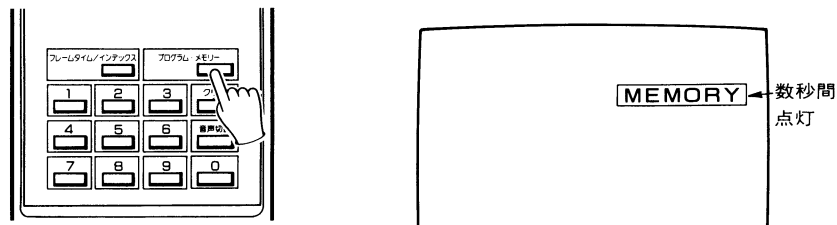
再生中にプログラム・メモリーキーを押しておきますと、あとでその位置から再生をスタートさせることができます。

- プログラム再生中はメモリー再生はできません。

20cm・30cm CDV LD

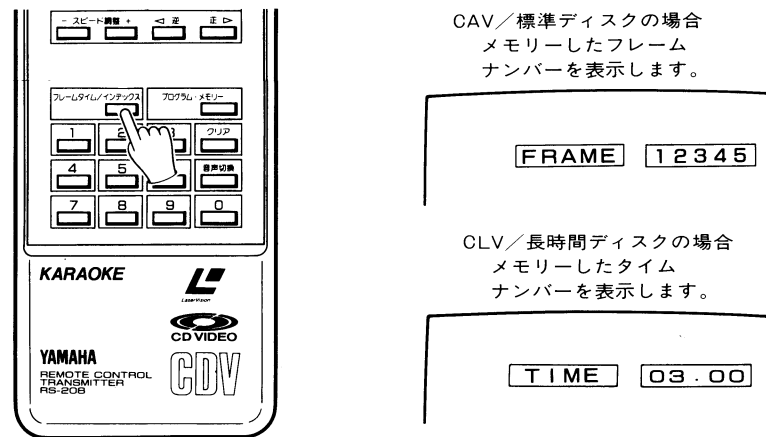
1 メモリーしたい場面でプログラム・メモリーキーを押します。

“MEMORY”の文字が表示されます。(押したときのフレームナンバーまたはタイムナンバーがメモリーされます)



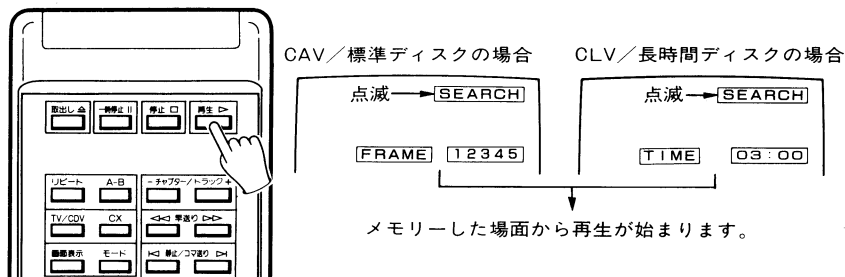
2 フレーム・タイムキーを押します。

メモリーされたフレームナンバーまたはタイムナンバーが表示されます。



3 再生キーを押します。

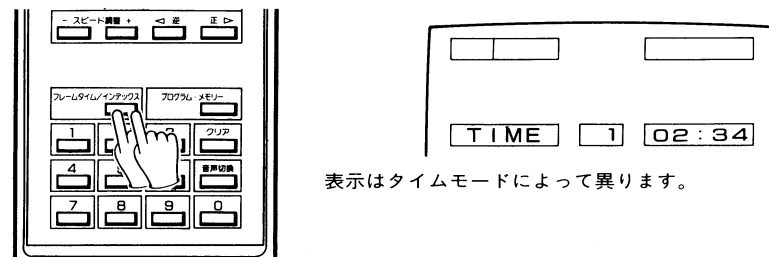
メモリーした場面をサーチして再生します。



- 再生中に停止キーを押してストップした場合は、フレーム・タイムキーを押し、フレームナンバーまたはタイムナンバーを表示させてから再生キーを押しますと、さきほど停止キーを押してストップさせた位置から再生をスタートすることができます。
- 20cm・30cmCDV (CAV/標準ディスク)はフレームナンバー表示中は、フレームナンバーメモリーとなり、他の表示のときは、CDV、CDと同様の操作となります。
- “分”単位で記録されたディスクでは“分”の最初に返って再生がスタートしますので、メモリーした画面とは異なることがあります。

2 フレーム・タイムキーを2回続けて押します。

メモリーした時間が表示されます。

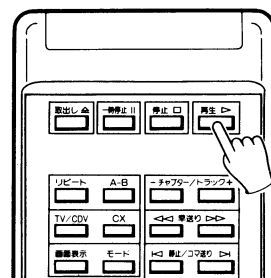


表示はタイムモードによって異なります。

3 再生キーを押します。

メモリーした位置をサーチ後、そこから再生がスタートします。

- 一時停止キーを押しますと、メモリーした位置で一時停止状態になります。

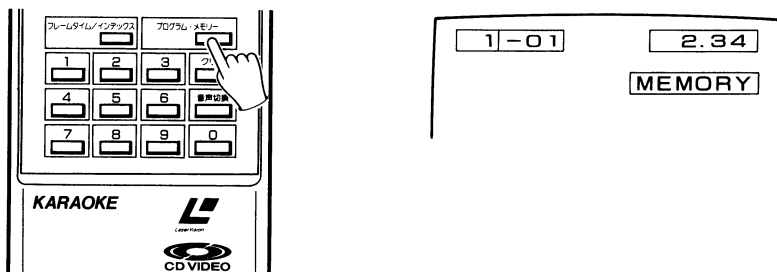


12cm CDV CD

1 メモリーしたい箇所でプログラム・メモリーキーを押します。

(押したときの時間がメモリーされます)

(画面には一度“MEMORY”が表示されます。)



- メモリー再生はトラックタイム表示、トータムタイム表示、リメンタイム表示のいずれの状態でも可能です。またメモリーされた時間は、クリアキーを押すと消去され、ディスプレイはトラックタイム表示に戻ります。
- 再生中に停止キーを押してストップした場合は、フレーム・タイムキーを押し、タイムナンバーを表示させてから再生キーを押しますと、さきほど停止キーを押してストップさせた位置から再生をスタートすることができます。

マルチスピード再生

20cm・30cm CDV LD (CAV/標準ディスク)

再生スピード
を変えるには

LDや20cm・30cmCDV のCAV/標準ディスクではスピード調整キーにより、10段階の再生スピードを選ぶことができます。(マルチスピード再生)

電源を入れたときは、3倍速が設定されています。これよりも速くしたいときはスピード調整キーの+キー、遅くしたいときは-キーを押します。

速 さ	画面上の表示
ハイスピード再生	12倍速 *12
	3倍速 *3
	2倍速 *2
標準スピード	*1
スローモーション再生	1/2の速さ 1/2
	1/4の速さ 1/4
	1/8の速さ 1/8
	1/16の速さ 1/16
	1秒1コマ送り 1 SEC
3秒1コマ送り 3 SEC	

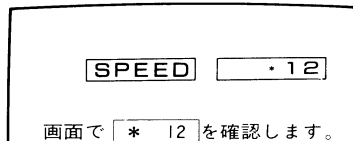
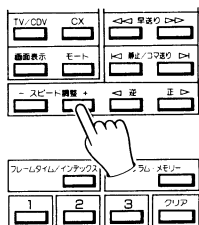
メモ

- 選んだ速さは他の再生モードに換えた場合でも記憶され続けますが、電源を切ると3倍速に戻ります。
- マルチスピード以外の再生モード時にもスピード調整キー(+,-キー)を受け付け、マルチスピード再生時のスピードをあらかじめ変えておくことができます。
- マルチスピード再生中はすべてのスピード(*1を含め)で音は出ません。

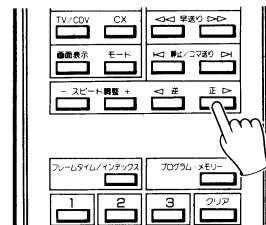
■ハイスピード再生

1 スピード調整キーの“+”キーを押し、スピードを設定します。

例) 12倍速で再生するには
この場合は*12を表示させます。



2 マルチスピードプレイキーの“正▷”キーを押します。 (逆転再生するときは、“逆◁”キーを押します。)



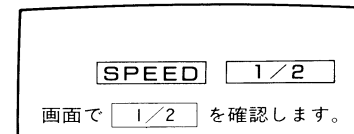
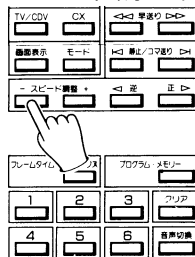
フレーム(タイム)ナンバーが
緑色に変わり、12倍速でハイ
スピード再生となります。
(音声は消えます。)

*通常の再生に戻すときは、再生キーを押してください。

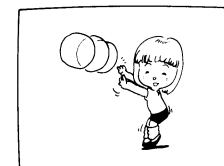
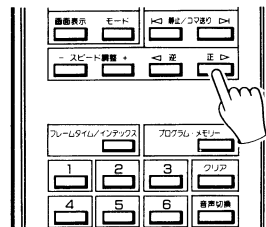
■スローモーション再生

1 スピード調整キーの“-”キーを押し、スピードを設定します。

例) 1/2の速さで再生するには
この場合は1/2を表示させます。



2 マルチスピードプレイキーの“正▷”キーを押します。 (逆転再生するときは、“逆◁”キーを押します。)



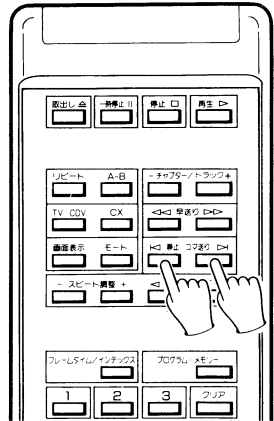
フレーム(タイム)ナンバーが
緑色に変わり、1/2の速さでス
ローモーション再生となりま
す。(音声は消えます。)

*通常の再生に戻すときは、再生キーを押してください。

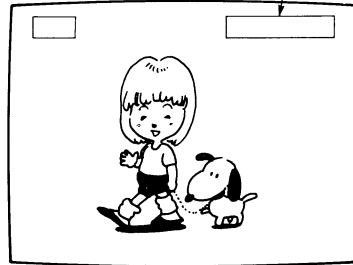
静止画／コマ送り再生 20cm・30cm CDV LD (CAV/標準ディスク) 見たい場面で止めるには

■静止画再生

静止／コマ送りキー（◀、▶）のどちらか一方を押すと、映像が静止します。



静止／コマ送り再生中は赤色で表示されます。



- 音声は出ません。
- * 再生するディスクによっては完全な静止画にはならず、画像がブレることがあります。
- * 通常の再生に戻すときは、再生キーを押してください。

メモ

画面静止状態でも早送り、早戻しを行なうことができますので、見たい画面を素早く探すときに便利です。この状態で早送り、早戻しを行なった後は、静止画面となります。

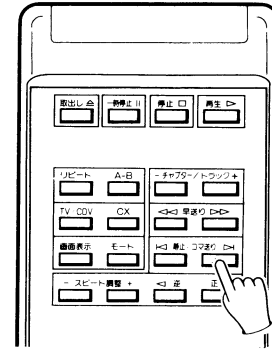
■コマ送り再生

〔順方向〕

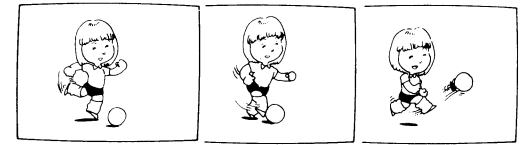
静止画にした後、▶ キーを押すたびに画面が順方向にコマ送りされます。

押し続けると、連続的なコマ送り再生となります。

- 音声は出ません。



順方向 →



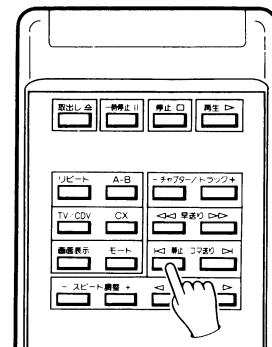
- * 通常の再生に戻すときは、再生キーを押してください。

〔逆方向〕

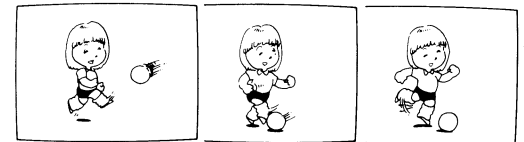
静止画にした後、◀ キーを押すたびに画面が逆方向にコマ送りされます。

押し続けると、連続的なコマ送り再生となります。

- 音声は出ません。



逆方向 ←



- * 通常の再生に戻すときは、再生キーを押してください。

リピート再生 再生を繰り返すには **LD CDV CD**

ディスクの片面または再生したい箇所だけを繰り返して再生することができます。

標準再生時

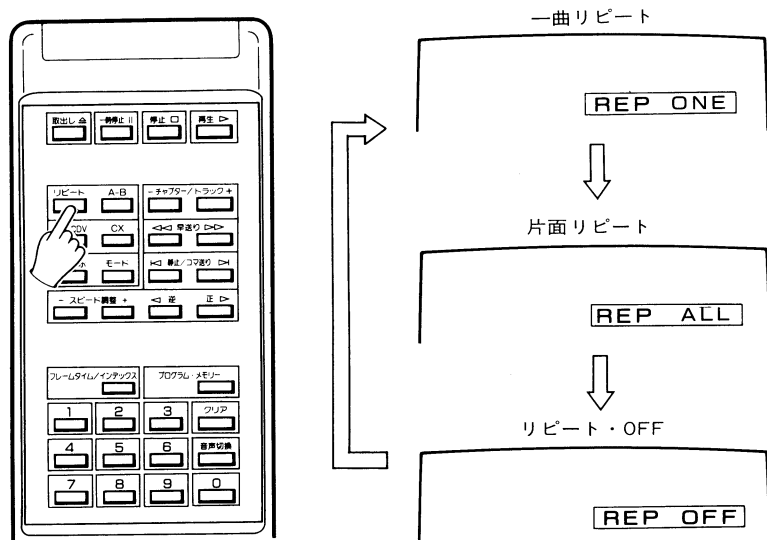
- 一曲リピート (REP ONE) : 1 チャプター / トラックを繰り返し再生します。
- 片面リピート (REP ALL) : ディスクの片面全部を繰り返し再生します。
- A-Bリピート (REP A-B) : 指定した2点間を繰り返し再生します。
- プログラムリピート : プログラムを繰り返し再生します。

カラオケ時

- 一曲リピート (REP ONE) : 1 チャプター / トラックを繰り返して再生します。
- A-Bリピート (REP A-B) : 指定した2点間を繰り返し再生します。
- カラオケモードのときは片面リピートをすることはできません。

■リピートモードの切り換えについて

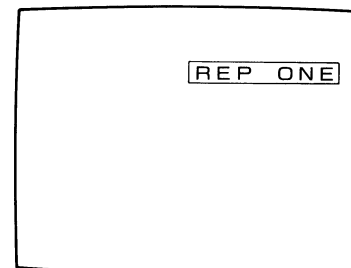
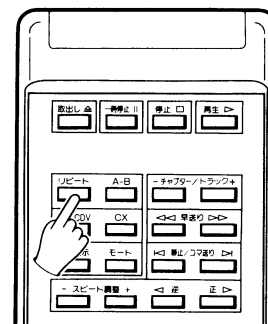
リピートキーを押すごとにリピート機能が切り換わります。



■一曲リピート (REP ONE)

チャプターナンバーが記録されているディスク

現在再生しているチャプター(またはトラック)を繰り返し再生します。

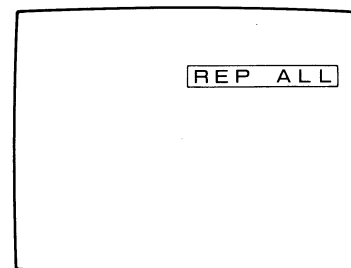
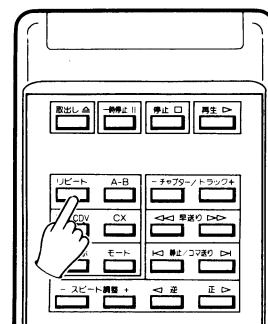


同じチャプター(トラック)を繰り返して再生します。

リピートキーをこの画面になるまで押します。REP ONEは数秒間点灯します。

■片面リピート (REP ALL)

ディスクの片面を繰り返し再生します。



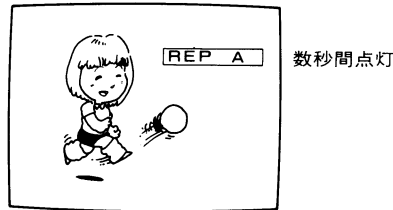
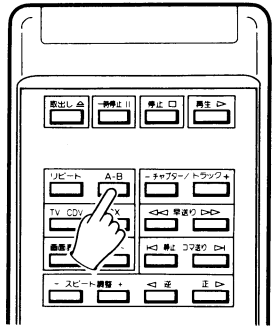
ディスクの片面を繰り返して再生します。

リピートキーをこの画面になるまで押します。REP ALLは数秒間点灯します。

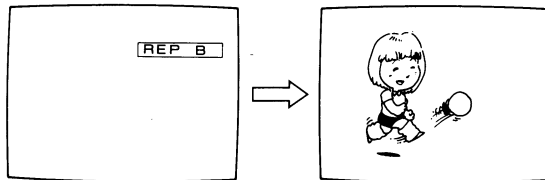
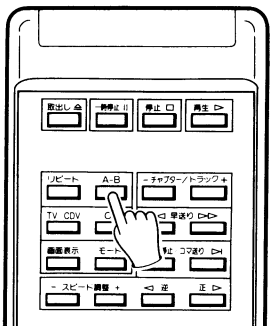
- カラオケモードのときは片面リピートをすることはできません。

■A-Bリピート

- 1 繰り返したい箇所になりましたらA-Bキーを押します。
A点が指定されます。



- 2 繰り返しを終えたい箇所になりましたら、A-Bキーを押します。
B点が指定され、下のような表示が現れた後、A-B間を繰り返し再生します。



A点から繰り返し再生します。

- プログラム再生中はA-Bリピートはできません。

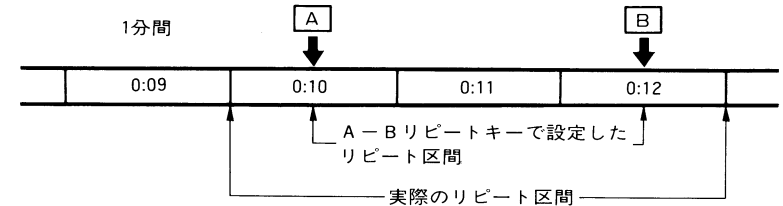
トラックの一部やトラックをまたがったA-Bリピートはできますが、12cm CDVではオーディオパートとビデオパートにまたがるA-Bリピートはできません。

ご注意

CLV/長時間ディスクのリピート区間について

CLV/長時間ディスクのリピートは、ディスクに記録されたタイムによって行なわれます。ディスクは「分」を最小単位として記録されたものと「秒」単位まで記録されたものがあります。A-Bリピートを行なう場合、「秒」まで記録されたディスクでは再生時にA-Bキーを押した点(場面)と実際のリピート区間およびサーチ点(場面)はディスクプログラム上でほぼ一致しますが、分単位で記録されたディスクでは必ずしも一致しません。

例)「分」単位で記録されたディスクでのA-Bリピート



「分」単位でタイム記録されたディスクでの最短のリピート区間は1分間です。同一の「分」でA-Bキーを押すと1分間のリピートとなります。

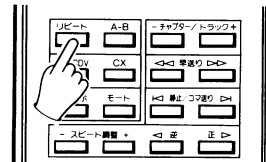
■プログラムリピート

プログラム再生中はシングルリピートやプログラムのフルリピートもできます。

■リピートを解除するには

リピートキーを押して画面にREP OFFを表示させますと、すべてのリピートが解除されます。

- 一曲リピートはリピートキーを2回押します。
- フルリピートはリピートキーを1回押します。
- A-Bリピートはリピートキーを1回押します。
とりリピートを解除することができます。



リピートが解除されると
通常の再生となります。

REP OFF

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお問合せまたはサービスをご依頼ください。

LD、CDV、CD共通

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源が入らない	電源プラグがコンセントからはずれている	しっかり差し込んでください
再生が始まらない	ディスクがセットされていない	ディスクをセットしてください
	カラオケモード：選曲されていない	カラオケモード：選曲してください
ディスクトレイが出てきてしまう	ディスクがひどく汚れている。ディスクが正しくセットされていない	クリーニングしてください(→7ページ)
	ディスクが変形(そりなど)している	矯正すると変形が軽減されることがあります(→8ページ)
リモコンで操作できない	リモコンの電源が消耗している	電池を交換してください(→4ページ)
	リモコン操作の距離、角度が適切でない	7m以内、30°以内で操作してください(→4ページ)
リモコンを操作するとテレビが誤動作する	ワイヤレスリモコン機能をもつテレビを使用している場合	テレビが本機のそばにセットされている
	テレビが本機のそばにセットされている	テレビと本機を離してセットするかテレビのリモコン受光部におおいをしてください
ブーンというハム音が出る	接続コードのプラグの接続不良	接続コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください

LD、20cm・30cm CDV、12cm CDVのビデオパート再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
ディスクは回転しているが映像が出ない	テレビ(カラーモニター)の電源が切れている	テレビ(カラーモニター)の電源を入れてください
	接続が不完全	正しく接続し直してください(→10~18ページ)
	テレビのVHF入力を使用している場合	本機の送り出しチャンネルとテレビのチャンネルが合っていない
	ANTインジケータが点灯している	テレビのチャンネルを空チャンネル(1CH、2CHのうち放送のない方)にセットし、本機のCHANNEL切換スイッチを1CH→L、2CH→Hにします(11~14ページ) TV/CDVキーを一回押します
	片面ディスクを裏がえしにセットしている	見たいレーベル面を上にしてセットしてください
テレビ番組(VHF放送)が映らない	VHFアンテナの接続が不完全	VHFアンテナを正しく接続し直してください(→10~14ページ)
	本機の再生モードになっている	TV/CDVキーを一回押します
テレビ番組(UHF放送)が映らない	UHFアンテナを本機のANT IN端子に接続している	UHFアンテナは、直接テレビのUHF入力端子に接続してください(→10~14ページ)
テレビ番組の映りが悪い 画面にしま模様が入る	電波の弱い地域ではこのような症状が出ることがあります	テレビ番組を見るときは本機の電源を切ってください
画質が悪い	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください(→7ページ)
画面が乱れる	ディスクが変更(そりなど)している	矯正すると変形が軽減されることがあります(→8ページ)

LD、20cm・30cm CDV再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
音声がでない	マルチスピード再生をしている	再生キーを押して、標準再生モードにしてください
	接続するテレビ、アンプのボリュームが絞ってある	テレビまたはアンプのボリュームを適当な音量に調節します
	音声入力端子付テレビを使用している場合 音声ケーブルの接続が不完全	音声ケーブルを正しく接続し直してください(→13ページ)
音声が不自然に聞こえる	CX NRをONにするように指示されているCLV/長時間ディスクを再生している	ジャケットの指示に従ってCX NRをONにしてください(→33ページ)
マルチスピード再生、静止/コマ送り再生、フレームサーチができない	CLV/長時間ディスクを再生している	CLV/長時間ディスクはマルチスピード再生、静止/コマ送り再生、フレームサーチができません
チャプタースキップ チャプターサーチができない	チャプターナンバーが記録されていないディスクを再生している	リモコンの表示切換キーを押してチャプターナンバーが表示されるか確かめてください(→34、35ページ)
タイムナンバーサーチを行なうと、指定した画面と違う所を再生する	リモコンの画面表示キーを押して、タイムナンバーが「分」単位で記録されたディスクか、「秒」単位で記録されたディスクか確かめてください	タイムナンバーサーチ(37ページ)を参照してください

12cm CDV再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
音声がでない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください
	接続するテレビ、アンプのボリュームが絞ってある	テレビまたはアンプのボリュームを適当な音量に調節します
	音声入力端子付テレビを使用している場合 音声ケーブルの接続が不完全	音声ケーブルを正しく接続し直してください(→13ページ)
A-Bリピートができない	A、Bの2点がオーディオパートとビデオパートにまたがっている	オーディオパート、ビデオパートにまたがるA-Bリピートはしません。
再生キーを押すとディスクの途中から再生が始まってしまう	CDVでは必ずビデオパートから再生がスタートします。 カラオケモード：リモコンでは1曲目からスタートします	ディスクの最初から再生するときは、トラックキーでトラック1を指定してください
タイムサーチを行なうと、指定した画面と違う所を再生する	指定したトラックタイムがそのトラックをオーバーしている または、指定したトータルタイムがオーディオパートをオーバーしている	タイムサーチ(→39ページ)を参照してください

CD再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
ディスクを入れても演奏が始まらない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください
	ディスクがひどく汚れている カラオケモード：選曲されていない	クリーニングしてください カラオケモード：選曲してください
音が出ない	接続が不完全	正しく接続し直してください(10~14ページ)

参考仕様

■型式

LD、CDV、CD再生フルコンビネーションプレーヤー

ビデオ系：Philips-MCA方式に基づく光学式ビデオディスクシステム。

方式	レーザービジョン方式
信号方式	NTSC方式準拠
再生可能ディスク	LD すべてのNTSCレーザービジョンディスク 20cm、30cm標準ディスク(CAV) 20cm、30cm長時間ディスク(CLV)
	CDV 12cm、20cm、30cm ディスク
	CD 8cm、12cm ディスク

■入・出力端子

<入力>

アンテナ入力 ANT IN：VHF 75Ω 不平衡、F型ジャック

<出力>

RF出力 VHF OUT：VHF1chまたは2ch切換方式、75Ω 不平衡
F型ジャック

ビデオ出力 VIDEO SIGNAL：1V_{p-p}(75Ω 負荷時、同期負)
ピンジャック

オーディオ出力 AUDIO SIGNAL(L,R)
：200mV_{r.m.s.}(1KHz、40%変調：アナログ)
200mV_{r.m.s.}(1KHz、-20dB：デジタル)

- 音声切換スイッチがデジタルの位置では、デジタル/アナログの両方の音声で記録されたディスクは自動的にデジタル音声が、アナログで記録されたディスクはアナログ音声で出力されます。

(デジタル→アナログ音声切換可能)

ステレオピンジャック
MONO：モノラルTV用

オーディオモノ出力

モノラルピンジャック

I/Oポート

I/O PORT：調整用端子です。
ご使用になれません。

■ビデオ信号

水平解像度 425本

■総合

電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	30W
外型寸法	435(W)×114(H)×420(D)mm
重量	9kg
許容動作温度/湿度	5°C~35°C/5%~90%(結露のないこと)

■付属品

リモコン RS-208	乾電池(単3型)×2
F型プラグアダプター×1	RFケーブル×1
音声ケーブル×1	映像ケーブル×1

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

当社はレーザービジョンプレーヤーの補修用性能部品を製造打切り後最低8年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りの

YAMAHA 電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また**製品の品名、製造番号**などもあわせてお知らせください。※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 TEL(011)513-5036
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F 東北営業所 TEL(022)223-3101
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F 特販営業所 TEL(03)255-1825 首都圏第一営業所 TEL(03)255-5691 首都圏第二営業所 TEL(03)255-5691 神田営業所 TEL(03)255-6767 販売二課 TEL(03)255-2302
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル 北関東営業所 TEL(025)241-2084
千葉	〒260 千葉市千葉港2-1 千葉コミュニティセンター1F 千葉営業所 TEL(0472)47-6622
神奈川	〒211 川崎市中原区木月1184 ヤマハ日吉センター内 神奈川営業所 TEL(044)434-4871
浜松	〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ッ池センター内 浜松営業所 TEL(0534)71-1207
名古屋	〒464 名古屋市中区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 中部営業所 TEL(052)782-7551 販売二課 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 関西営業所 TEL(06)647-6411 日本橋営業所 TEL(06)647-6411 中央営業所 TEL(06)647-6411 販売二課 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いぎん広島ビル内 中国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 ホームエレクトロニクス事業本部 お客様相談センター TEL(0534)60-3421

ヤマハ株式会社

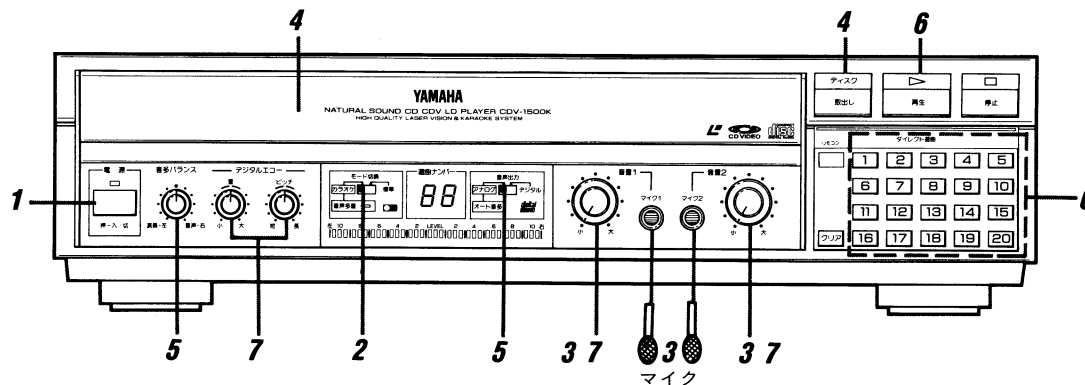
〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

国内販売統括部 TEL.(0534)60-3421
生産管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA



- 1** 本機および各機器の電源を入れます。
- 2** モード切換スイッチを“カラオケ”側にします。
 - モード切換スイッチの切り換えは、ストップ状態（画面にSTOPが表示されているとき）で行ってください。
- 3** 音量つまみが“小”になっていることを確認し、マイクをマイクジャックに差し込みます。
- 4** 取出しキーを押し、ディスクトレイを開けて、カラオケディスクをセットします。
- 5** 演奏する音声の種類を音多バランスつまみ、音声出力切換スイッチで選択します。
 - 音声多重ディスクを再生するときにアシスタントボーカルが不要の場合は、音多バランスつまみを左(演奏側)に回します。
 - またはリモコンの音声切換キーで1L-CHを選択します。
 - 通常のカラオケディスクの場合は音声出力切換スイッチをアナログ側にセットします。
- 6** 再生する曲をダイレクト選曲キーで選び、再生キーを押します。

- 7** 全体の音量は接続している機器のボリュームで、マイクの音量やエコーの効かせ具合は本機の音量つまみ、デジタルエコーつまみで調整してください。
 - 一曲の演奏が終わりますと、自動的にストップ状態（カラオケ予約プログラム演奏時は次曲のスタンバイ状態）になります。

カラオケ予約プログラムのしかた

セットしたディスクのなかから15曲までをお好みの順番で演奏することができます。カラオケ予約プログラム演奏は一曲終了ごとにスタンバイになります。

- ①ダイレクト選曲の曲番キーを演奏したい曲順に押します。
- ②最初に演奏する曲の曲番キーが点滅、プログラムメモリーされた曲番キーは点灯します。
- ③画面の“STANDBY”が点滅から点灯に変わりましたら、再生キーを押します。
- ④一曲の演奏が終了するごとにスタンバイ状態になります。再生キーを押しますと次の曲の演奏がスタートします。
 - 同じ曲を再度演奏したい場合は、その曲の演奏が始まってから、または終わってから、再度曲番キーを押します。
 - プログラムを変更するときはクリアキーを押してから、プログラムしなおしてください。

リモコンでのカラオケ演奏のしかた

